



第27回

日本ヒト脳マッピング学会

27th Annual Meeting of Japan Human Brain Mapping Society

会期 2025.3.7 (Fri) ▶ 8 (Sat) 会場 東京・学術総合センター・一橋講堂
Hitotsubashi Hall, National Center of Sciences Building

プログラム集

大会長

松田 哲也 Tetsuya Matsuda

玉川大学
脳科学研究所 / 大学院脳科学研究科 教授

実行委員長

花川 隆 Takashi Hanakawa

京都大学大学院医学研究科
高次脳科学講座 脳統合イメージング分野 教授

プログラム委員長

竹村 浩昌 Hiromasa Takemura

自然科学研究機構生理学研究所
システム脳科学研究領域 感覚認知情報研究部門 教授

未踏の領域を切り拓く：脳マッピングの新時代の到来
Charting the Frontier: Unveiling the Next Era of Brain Mapping

知る、深める、役立てる。
応用脳科学とAI開発を産業応用に

Consortium for Applied Neuroscience

一般社団法人 応用脳科学コンソーシアム（CAN: Consortium for Applied Neuroscience）は、脳科学、心理学、人工知能行動科学等、応用脳科学の最新の研究知見を基盤に、産学連携を促進し、「研究開発」、「人材育成」、「人材交流及び社会啓発」に取り組むオープンイノベーションモデルのコンソーシアムです。



共に学び、共に創る。豊富なラインナップ

01

脳モデル開発ユニット

第二期研究開発
メンバー募集中!

研究開発資金を拠出した会員企業で構成。共同で脳科学研究と人工知能研究を融合した脳融合型AIの本格的な産学連携型研究開発を行うユニット

今までのAIは、

- ①膨大なデータが必要
- ②人間の模倣は出来ても人間の理解は不可
- ③人間の情動、特に快情動の推定は困難

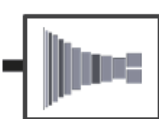


脳融合型AIは、

- ①データ量を削減可(1/3に削減実績あり)
- ②本人も意識していない脳に発現した反応を言語化
- ③快情動が起こる外部環境刺激の探索、予測が可能

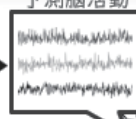


五感情報



符号化
モデル

予測脳活動



復号化
モデル

家族、料理
キッチン
幸せそう・美味しそう・
楽しそう・
@ホームな空間

脳情報で従来では困難な特徴抽出を強化



02

応用脳科学アカデミー【2025年度学生会員（仮称）募集】

第一線で活躍されている脳科学、心理学、AI、行動科学等の研究者を講師として招聘し、様々な観点から人間と脳について学ぶ人材育成のプラットフォーム ※応用脳科学資格検定制度も併設しております。

03

応用脳科学R&D研究会

特定の研究テーマについて、脳科学、心理学、人工知能等の最新の研究知見を活用した応用脳科学研究をトライアル実施する研究開発のプラットフォーム

04

応用脳科学ネットワーク

応用脳科学研究に関連する情報をメルマガ、レポート等で提供、コンソーシアム活動の社会への発信を促進する情報発信活動を行うプラットフォーム



一般社団法人 応用脳科学コンソーシアム事務局
お問合せ先 | can@can-neuro.org



患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合いたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

第27回 日本ヒト脳マッピング学会

The 27th Annual Meeting of Japan Human Brain Mapping Society

ープログラム集ー

未踏の領域を切り拓く：脳マッピングの新時代の到来
(Charting the Frontier: Unveiling the Next Era of Brain Mapping)

会 期：2025年3月7日 [金]・8日 [土]

会 場：学術総合センター 一橋講堂

会 長：松田 哲也
(玉川大学 脳科学研究所 / 大学院脳科学研究所 教授)

実行委員長：花川 隆
(京都大学大学院医学研究科 高次脳科学講座脳総合イメージング分野 教授)

プログラム委員長：竹村 浩昌
(自然科学研究機構生理学研究所 システム脳科学研究領域感覚認知情報研究部門 教授)

歴代会長

第1回	植村 研一	(浜松医科大学 脳神経外科)
第2回	古賀 良彦	(杏林大学医学部 精神神経科)
第3回	平田 幸一	(獨協医科大学 脳神経内科)
第4回	酒田 英夫	(日本大学 第一生理学)
第5回	上野 照剛	(東京大学大学院医学系研究科 医用生体工学)
第6回	堀 智勝	(東京女子医科大学 脳神経センター脳神経外科)
第7回	杉下 守弘	(公益財団法人 脳血管研究所)
第8回	定藤 規弘	(自然科学研究機構 生理学研究所)
第9回	菅野 巖	(秋田県立脳血管研究センター 放射線医学研究部)
第10回	嘉山 孝正	(山形大学医学部 脳神経外科)
第11回	中田 力	(新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター)
第12回	渡辺 英寿	(自治医科大学 脳神経外科)
第13回	福山 秀直	(京都大学医学研究科附属脳機能総合研究センター)
第14回	星 詳子	(東京都医学総合研究所)
第15回	宇川 義一	(福島県立医科大学医学部 神経内科学講座)
第16回	森 悦朗	(東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学分野)
第17回	加藤 天美	(近畿大学医学部 脳神経外科)
第18回	小林 哲生	(京都大学大学院工学研究科)
第19回	村井 俊哉	(京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 (精神医学))
第20回	長田 乾	(横浜総合病院 臨床研究センター)
第21回	湯本 真人	(東京大学大学院医学系研究科 病態診断医学講座)
第22回	鎌田 恭輔	(医療法人北晨会 恵み野病院)
第23回	青木 茂樹	(順天堂大学大学院医学研究科 放射線診断学)
第24回	尾内 康臣	(浜松医科大学 生体機能イメージング研究室)
第25回	前澤 聡	(名古屋大学 脳神経外科・脳とこころの研究センター)
第26回	川合 謙介	(自治医科大学 脳神経外科)

役員一覧

理事長

宇川 義一 福島県立医科大学 医学部 ヒト神経生理学講座
松田 哲也 玉川大学 脳科学研究所

庶務担当理事

湯本 真人 群馬パース大学 臨床工学科

財務担当理事

花川 隆 京都大学 医学研究科

理事

青木 茂樹 順天堂大学大学院 医学研究科 放射線診断学講座
川合 謙介 自治医科大学 脳神経外科
竹村 浩昌 自然科学研究機構 生理学研究所
林 拓也 国立研究開発法人 理化学研究所
前澤 聡 名古屋大学 脳神経外科
松元まどか 京都大学 医学研究科 附属脳機能総合研究センター

監事

定藤 規弘 自然科学研究機構 生理学研究所
福山 秀直 京都大学 学際融合教育研究推進センター
渡辺 英寿 自治医科大学 名誉教授

学術集会会長

松田 哲也 玉川大学 脳科学研究所
(2025年 第27回学術集会 会長)

名誉会員

植村 研一、柿木 隆介、加藤 天美、嘉山 孝正、
河村 満、菅野 巖、木下 利彦、栗城 眞也、
小泉 英明、古賀 良彦、小林 哲生、櫻井 靖久、
杉下 守弘、杉山 憲嗣、武田 克彦、辻 省次、
飛松 省三、富永 悌二、長田 乾、平田 幸一、
福山 秀直、星 詳子、堀 智勝、宮内 哲、
森 悦朗、渡辺 英寿

ご挨拶

第 27 回日本ヒト脳マッピング学会

会長 松田 哲也

玉川大学 脳科学研究所 / 大学院脳科学研究所 教授



この度は、第 27 回日本ヒト脳マッピング学会にご参加いただき、ありがとうございます。

本学会は、2024 年 4 月に旧日本脳機能マッピング学会と旧ヒト脳イメージング研究会が合併したことに伴い、学会名を「日本脳マッピング学会」に変更し、新体制での運営を開始しています。本大会は、合併後初回の大会となります。このような節目となる大会を担当させていただくことになり、とても名誉なことであるととともに身の引き締まる思いでございます。

近年、脳は多面的な理解が求められています。磁気共鳴画像 (MRI)・脳磁図 (MEG)・ポジトロン断層法 (PET)・単一光子放射断層撮影 (SPECT)・近赤外線分光法 (NIRS)・脳波 (EEG) などの脳計測機器による研究、経頭蓋磁気刺激 (TMS)・経頭蓋電気刺激 (TES)・脳深部電気刺激 (DBS)・集束超音波 (tFUS) を使ったニューロモデュレーション研究、頭蓋内脳波記録・覚醒下手術マッピングといった最先端の脳神経外科技術による研究といったこれまでの本学会の強みに加え、精神科・脳神経内科・脳神経外科領域などにおける脳疾患研究、心理学・認知科学領域の認知神経科学研究、数理モデル・シミュレーション研究、実験動物を対象としたイメージング・電気生理学研究などといった関連領域の研究者による発表が加わることで、ここから新たなヒト脳マッピング研究のムーブメントが起きることを期待しています。

本大会のプログラムは、若手、中堅の研究者を中心に構成されたプログラム委員会で議論し決定されたものです。そのため、これからのヒト脳マッピング研究を推進する上で、今、是非話しを聴いてみたいと思える演題が詰まったプログラムになっており、特別講演 2 演題、教育講演 3 演題、シンポジウム 10 テーマ (40 演題)、一般演題 (口頭) 10 演題、一般演題 (ポスター) 131 演題、合計 186 演題の発表が予定されており、とても充実した内容になっているかと思います。

本大会のテーマは、このような節目となる大会ならびにヒト脳マッピング研究の新時代の幕開けに期待して、

未踏の領域を切り拓く：脳マッピングの新時代の到来

(Charting the Frontier: Unveiling the Next Era of Brain Mapping)

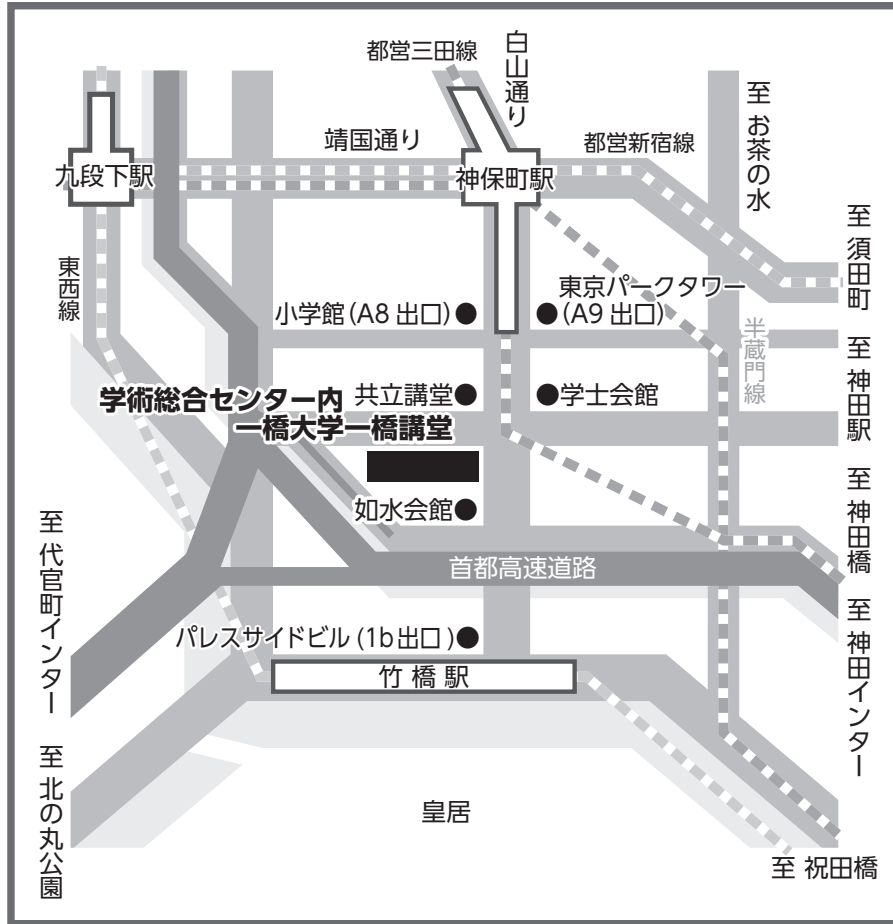
としました。

参加いただいた皆様には、この幕開けを共に感じていただければと思っております。

最後になりますが、本大会開催にあたり多大なるご理解とご支援をいただきました協賛企業各社に厚く御礼申し上げます。

交通案内

一橋大学一橋講堂への経路



【一橋大学一橋講堂】

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅 (A8・A9 出口) 徒歩 4 分
東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b 出口) 徒歩 4 分

参加者へのご案内

I 学会参加の皆様へ

1. **会期** 2025年3月7日（金）～8日（土）
2. **会場** 学術総合センター 一橋講堂
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内
<https://www.hit-u.ac.jp/hall/>
口 演 会 場 A会場 一橋講堂
B会場 中会議場2～4
ポスター会場 特別会議室101、102、中会議場1
受付総合窓口 1階エントランスロビー
P C 受 付 一橋講堂ロビー
学 会 本 部 会議室203
ク ロ ー ク 一橋講堂ロビー
機器展示会場 一橋講堂ロビー

参加受付

(1) 参加方法：

今大会は、現地開催のみになります。2025年3月7日（金）～8日（土）に来場してご参加ください。
（ライブ配信・オンデマンド配信はありません）。

(2) 参加費お支払方法：

参加費のお支払いは大会ホームページ内で行っている事前参加登録のみとなります。
学会期間中の参加受付での現金でのお支払い対応は行っておりません。
あらかじめ事前参加登録をお済ませの上、ご来場くださいます様お願い申し上げます。

(3) 受付総合窓口：

学会期間中以下の場所・時間にて受付総合窓口を設けております。

場所：1階エントランスロビー

時間：3月7日（金）：9：00～18：00

3月8日（土）：9：00～16：30

※参加費のお支払いは大会ホームページ内で行っている事前参加登録のみとなります。

(4) ネームカード（参加証）

事前参加登録完了後、マイページよりご自身でネームカードを印刷してお持ちください。
ネームストラップをお渡しします。
会場内ではネームカードを常に着用してください。

(5) プログラム集

学会期間中受付総合窓口にて配布致します。

ライブ配信・オンデマンド配信

学会期間中のライブ配信、会期終了後のオンデマンド配信は行いません。

新入会受付

一般演題の発表者（筆頭著者）は日本ヒト脳マッピング学会の会員（正会員、学生会員または名誉会員）に限らせていただきます。

入会手続きについては、学会ホームページの「入会案内（<http://jhbm.umin.jp/nyukai.html>）」をご参照ください。

専門医クレジット

- ・ 日本神経学会（2点）：認定更新の際に学会参加証をご提示ください。
- ・ 日本脳卒中学会（3点）：認定更新の際に学会参加証をご提示ください。
- ・ 日本脳神経外科学会：（一社）日本脳神経外科学会会員カードをカードリーダーにかざしてください。

ランチョンセミナー開催のご案内

下記の日程にてランチョンセミナーを開催致します。お弁当をご用意致しますが数に限りがありますのでご了承ください。ランチョンチケットの発行はございません。

◆ 3月7日（金）

セミナー番号	会場	会場名	時間	共催企業
ランチョンセミナー1	B会場	中会議場 2～4	12：20～13：20	シーメンスヘルスケア株式会社

◆ 3月8日（土）

セミナー番号	会場	会場名	時間	共催企業
ランチョンセミナー2	B会場	中会議場 2～4	12：20～13：20	エーザイ株式会社

情報交換会（無料）

2025年3月7日（金）18時10分～B会場（中会議場2～4）にて開催致します。

皆様ご参加くださいますようお願い申し上げます。

※ご提供は軽食（フィンガーフード）になります。

また、場合によってはご参加者様が多くなることも想定されます。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

機器展示

機器展示を一橋講堂ロビーにて行います。

クローク

3月7日（金）・8日（土）の両日とも一橋講堂ロビーに臨時クロークを設置致します。
各日とも受付開始時間からプログラム終了までとさせていただきます。
※貴重品のお預かりはできかねますので、ご了承ください。

その他

- ・ 会場内でのスライドによる呼び出しはいたしません。
- ・ ご来場の際は、公共の交通機関をご利用ください。
- ・ 会場内では携帯電話はマナーモードにさせていただき、通話をご遠慮ください。
- ・ 発表者や事務局の許可が無い撮影・録画・録音をご遠慮ください。
- ・ 託児施設の設置はございません。

連絡先

【第27回日本ヒト脳マッピング学会 事務局】

玉川大学脳科学研究所内
〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1
TEL：042-739-8265
E-mail: jhbm27-office@umin.ac.jp

【運営事務局】

株式会社ドゥ・コンベンション内
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-23、5F
TEL：03-5289-7717 FAX：03-5289-8117
E-mail: jhbm27-office@umin.ac.jp

II 座長・演者の先生方へ

座長の先生方へ

- (1) 担当セッション開始15分前までに担当会場に直接お越し頂き、進行席（会場右手前方）のスタッフにお声掛けをお願い致します。
- (2) セッションの進行は座長にお任せ致します。
- (3) プログラムの円滑な進行のため、担当セッションの時間を厳守していただくようお願い致します。
- (4) ご来場出来ない座長の先生方につきましては、別途ご案内させていただきます。

演者の先生方へ（口頭発表の皆様へ）

- (1) 発表方法
 - ・ 発表はPCによるプレゼンテーションのみとなります。
 - ・ 発表時間の30分前までにPC受付にて発表データの登録および動作確認をお済ませください。
 - ・ 発表開始の15分前までに会場内の次演者席にお越しください。

(2) 発表時間 ※口演時間の厳守をお願いします。

セッション	発表	質疑応答
教育講演 1、2、3	55分	5分
特別講演	55分	5分
シンポジウム	17分	5分
一般演題	9分	3分

※プログラムの円滑な進行のため、時間の厳守をお願いいたします。

(3) PC 受付

発表の30分前までに受付をお済ませください。PC受付は一橋講堂ロビーにて行います。

※8日(土)午前ご発表の方は、できるだけ前日のうちにPC受付をお済ませください。

◆3月7日(金) 9:00～17:00

◆3月8日(土) 9:00～16:00

(4) 画角サイズ

映像映写時の画角サイズは16:9です。

(5) 発表形式

- ・口演はPC発表に限ります。(各会場ともスクリーン1面、プロジェクター1台です。)
- ・ご発表データはPowerPointで編集してください。
- ・Windowsにてデータ作成の場合はUSBメモリーのメディアでお持ちください。
- ・動画のある方とMacintoshの場合は必ずご自身のPCをお持ちください。
- ・発表者ツールはご使用出来ません。

【メディア持込み際の注意点】

- ・データはUSBメモリーでお持ちください。
- ・学会準備のPCのOSはWindows10, 11、PowerPointのバージョンは2019で用意いたします。
- ・OS標準フォントをご使用ください。
- ・プレゼンテーションデータに他のデータ(静止画・グラフなど)をリンクさせている場合は、必ずリンクさせている元データも一緒にフォルダに保存し、作成したPCとは別のPCにて事前に動作確認をお願い致します。
- ・発表時は演台上のマウス・ディスプレイに接続されていますので、ご自身で演台上のマウス等を実行してご発表ください。
- ・お預かり致しましたデータは学会終了後、責任を持って消去致します。

【パソコンをご持参される場合の注意点】

- ・PC本体をお持ち込みの場合はPC本体に外部出力(HDMI)が使用できることを必ずご確認ください。
あわない形状の外部モニター出力端子の場合は、ご自身で変換アダプターをご用意ください。
- ・電源アダプターをお忘れなくご用意ください。
- ・iPadやSurface、その他タブレット端末については、動作の保証は出来かねます。
- ・不測の事態に備え、プレゼンテーション用データファイルでのバックアップをUSBメモリーで持参してください。

- ・ 動作確認されたコンピュータは発表の 15 分前までに会場内の PC オペレーター（次演者席脇）に各自で預けてください。
- ・ 発表時は演台上のマウス・ディスプレイに接続されていますので、ご自身で演台上のマウス等をご操作してご発表ください。
- ・ スムーズな進行をするために、PowerPoint 附属機能の「発表者ツール」の使用はお控えください。
- ・ 発表終了後は会場内 PC オペレーター席にて速やかに PC をお引き取りください。

演者の先生方へ（ポスター発表の皆様へ）

(1) ポスター会場は特別会議室 101、102、中会議場 1 になります。

(2) 発表方法

本大会では、座長によるポスターセッションの誘導は実施致しません。セッション中、発表者の方はご自身のポスターの前での発表をお願い致します。なお、在籍責任時間の設定は致しません。

発表者は示説時間にご自身のパネルの前で待機してください。

- ・ ポスター 1：3 月 7 日（金）16：50～17：50
- ・ ポスター 2：3 月 8 日（土）14：20～15：20

(3) 貼付・撤去時間

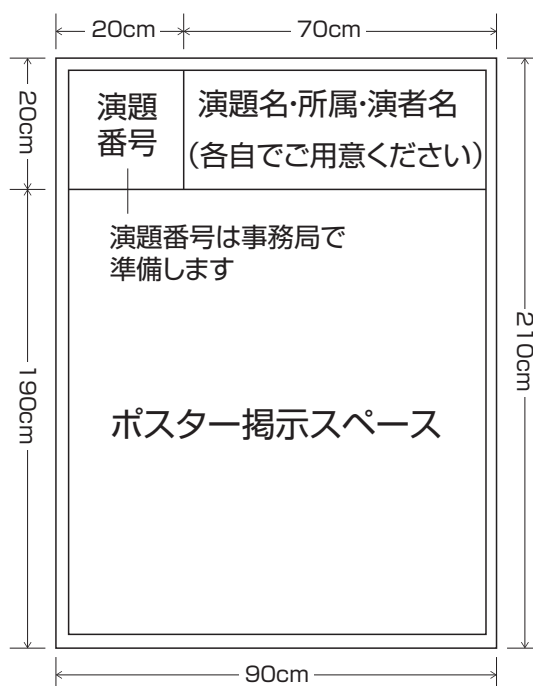
非常に多くの演題のお申し込みをいただいた関係で、初日と 2 日目のポスターを完全入れ替えとさせていただくことになりました。このため、3 月 7 日（金）の方はセッション終了後、ポスターの撤去を 19 時までに、3 月 8 日（土）の方はセッション終了後、ポスターの撤去を 16 時 30 分までをお願い致します。もし撤去されていない場合、学会事務局において処分致しますので、あらかじめご了承ください。

◆ポスター 1：3 月 7 日（金）：貼付 10：00～16：00、撤去 19 時までに

◆ポスター 2：3 月 8 日（土）：貼付 10：00～14：00、撤去 16 時 30 分までに

(4) 展示方法

- ① ポスターパネルの大きさは図のとおりです。
演題番号は事務局で用意します。
- ② （演題番号を除く）演題名、演者名、所属、発表内容を含んだポスターをご準備ください。
- ③ ポスターがパネルの下端から下にはみ出る場合は、床までの距離にご注意ください。
- ④ 押しピンは各パネルに備え付けてある紙コップ内のものをご使用ください。



演者の先生方へ（早期キャリア研究者奨励賞候補の皆様へ）

大会初日の「一般演題口頭発表1（早期キャリア研究者奨励賞候補）」セッションでの口頭発表をお願いしたいと考えています。一般口頭発表でのご発表内容をプログラム委員会にて審査させていただき、早期キャリア研究者奨励賞演題の最終決定を行います。なお早期キャリア研究者奨励賞受賞演題の発表は3月8日（土）の16時50分から行われる授賞式にて発表させていただきますので、早期キャリア研究者奨励賞候補の方にはその時間まで会場に留まっていただきますよう、お願い申し上げます。

発表の際の利益相反（COI）表記のお願い

第27回日本ヒト脳マッピング学会で発表される際は発表スライドの最初（演題名、演者名などが書いてあるもの）の下に、開示すべきCOIがあるかどうかを表記してください。記載様式は任意で構いません。

【スライド見本】

開示すべきCOIがない例

（様式2-A）口頭発表におけるCOI状態の開示
申告すべきCOI状態がない場合

日本ヒト脳マッピング学会
COI開示
筆頭発表者名：〇〇〇〇

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

開示すべきCOIがある例

（様式2-B）申告すべきCOI状態がある場合

日本ヒト脳マッピング学会
COI開示
筆頭発表者名：〇〇〇〇

演題発表に関連し開示すべきCOI関係、組織COI関係にある企業などとして、

①顧問:	なし
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥委託研究・共同研究費:	〇〇製薬
⑦奨学金付金:	〇〇製薬
⑧寄付講座所属:	あり(〇〇製薬)
⑨贈答品などの報酬:	なし

（様式2-C）ポスター発表におけるCOI状態の開示
ポスターの末尾に以下の様に開示する

筆頭発表者：演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

或いは、

筆頭発表者のCOI、組織COI開示

①顧問:	なし
②株保有・利益:	なし
③特許使用料:	なし
④講演料:	なし
⑤原稿料:	なし
⑥委託研究・共同研究費:	〇〇製薬
⑦奨学金付金:	〇〇製薬
⑧寄付講座所属:	あり(〇〇製薬)
⑨贈答品などの報酬:	なし

各種プログラム

特別講演

2025年3月8日（土）13：20～14：20

A会場 一橋講堂

「Decoding Multimodal Recovery Signals to Optimize Deep Brain Stimulation Treatment for Depression」

座長：松田 哲也（玉川大学 脳科学研究所／大学院脳科学研究所 教授）

演者：Helen S. Mayberg

(Nash Family Center for Advanced Circuit Therapeutics Icahn School of Medicine at Mount Sinai)

共催：文部科学省 共同利用・共同研究システム形成事業 学際領域展開ハブ形成プログラム

「スピン生命フロンティア（Frontiers of Spin Life Sciences: Spin-L）」

教育講演

教育講演 1 EL1

2025 年 3 月 7 日（金）13：20～14：20

A 会場 一橋講堂

「脳のネットワーク解析に親しみをもとう」

(Let's familiar with brain network analysis)

座長：神谷 昂平（東邦大学）

演者：重本 蓉子（国立精神・神経医療研究センター病院 放射線診療部）

教育講演 2 EL2

2025 年 3 月 7 日（金）13：20～14：20

B 会場 中会議場 2-4

「fMRI と EEG の同時計測：ヒト脳ダイナミクスの理解をめざして」

(Simultaneous fMRI and EEG: Toward understanding human brain dynamics)

座長：小川 昭利（順天堂大学）

演者：水原 啓暁（奈良女子大学 研究院生活環境科学系）

教育講演 3 EL3

2025 年 3 月 8 日（土）10：50～11：50

B 会場 中会議場 2-4

「覚醒下手術が可能にするヒトにおける電気生理学的研究」

(Awake brain surgery plays a role in electroneurophysiology)

座長：伏見 育崇（京都大学）

演者：澤田 眞寛（京都大学 脳神経外科）

ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1 LS1

2025 年 3 月 7 日（金）12：20～13：20

B 会場 中会議場 2-4

座長：阿部 修（東京大学大学院 医学系研究科 放射線医学講座 教授）

「Ultra-strong gradient is becoming accessible to clinical researchers」

演者：神谷 昂平（東邦大学 医学部 医学科 講師）

「ヒト脳情報表現の高時空間分解能での理解に向けた超高磁場 MRI の活用」

演者：宮脇 陽一（国立大学法人電気通信大学 大学院情報理工学研究所 機械知能システム学専攻 教授）

共催：シーメンスヘルスケア株式会社

ランチョンセミナー2 LS2

2025年3月8日(土) 12:20～13:20

B会場 中会議場 2-4

座長：高橋 英彦(東京科学大学 精神行動医科学分野 主任教授)

「アルツハイマー病抗 A β 抗体療法における ATN 分類スクリーニングバイオマーカーとエクソソームバイオマーカーの開発」

演者：井桁 之総(国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 認知症科 部長)

共催：エーザイ株式会社

スポンサードシンポジウム

スポンサードシンポジウム SS

「大規模データと数理モデルを活用した脳イメージング研究の新展開」

2025年3月7日(金) 14:20～15:20

A会場 一橋講堂

座長：松田 哲也

(玉川大学 脳科学研究所 教授/脳神経科学統合プログラム プログラムオフィサー)

上口 裕之

(理化学研究所 脳神経科学研究センター 副センター長/脳神経科学統合プログラム 中核拠点 副プロジェクトリーダー)

「デジタル脳開発に向けた神経・精神疾患データベース構築と数理モデリング」

演者：田中 沙織

(株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 認知機構研究所 室長)

「脳コネクトーム種間トランスレーションの研究技術開発」

演者：林 拓也

(理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー)

「ヒト疾患縦断データによる脳回路機能解明と霊長類モデルでの検証、臨床デジタル脳研究へ」

演者：岡田 剛

(広島大学 大学院医系科学研究科 特定教授)

協賛 日本医療研究開発機構 (AMED)

日 程 表 1 日 目 3 月 7 日 (金)

	A 会場 (一橋講堂)	B 会場 (中会議場 2～4)	ポスター会場 (特別会議室 101、102、中会議場1)
9:00	9:15 ～ 開会挨拶		
10:00	9:20 ～ 10:50 シンポジウム 1 専門領域から見た精神疾患の E/I バランス障害 座長：根本 清貴、阿部 欣史 演者：本多 菜、田村 俊介、高橋 琢哉、中澤 敬信	9:20 ～ 10:50 シンポジウム 2 多種・多次元・多階層な脳機能計測の融合における fMRI の役割 座長：楊 家家、堀 由紀子 演者：堀 祐樹、高橋 真有、梅田 達也、小川 健二	
11:00	10:50 ～ 12:20 シンポジウム 3 (English Session) Elucidation of brain functions and disorders by data-driven bioinformatics approaches in human and non-human primates 座長：宮本健太郎、小池 進介 演者：Justine Cléry、植松 明子、鈴木 秀明、岡田 随象	10:50 ～ 12:20 シンポジウム 4 脳内恒常性維持機構とその破綻 座長：島田 斉、鎌形 康司 演者：釣木澤朋和、関 守信、渡辺 宏久、小野麻衣子	
13:00		12:20 ～ 13:20 ランチョンセミナー 1 座長：阿部 修 演者：神谷 昂平、宮脇 陽一 共催：シーメンスヘルスケア株式会社	
14:00	13:20 ～ 14:20 教育講演 1 座長：神谷 昂平 演者：重本 蓉子	13:20 ～ 14:20 教育講演 2 座長：小川 昭利 演者：水原 啓暁	
15:00	14:20 ～ 15:20 スポンサードシンポジウム 大規模データと数理モデルを活用した脳イメージング研究の新展開 座長：松田 哲也、上口 裕之 演者：田中 沙織、林 拓也、岡田 剛 協賛：日本医療研究開発機構 (AMED)	14:20 ～ 15:20 一般演題 1 早期キャリア研究者奨励賞 座長：植松 明子、福永 雅喜 演者：Shen Yulei、中西 希天、渋川 周平、山本 祐輝、岩田 貴光	
16:00	15:20 ～ 16:50 シンポジウム 5 (English Session) Frontiers in Magnetic Measurement Technologies to Unravel Neural Dynamics, Metabolism, and Health 座長：松元まどか、釣木澤朋和 演者：小林 哲生、Niall Holmes、亀田 浩之、江本 美穂	15:20 ～ 16:50 シンポジウム 6 ニューロモデュレーションの最前線：基礎技術開発から臨床応用へ 座長：上原 一将、小金丸聡子 演者：長田 貴宏、國井 尚人、中村 晋也、花島 律子	
17:00			16:50 ～ 17:50 ポスター 1
18:00			
	18:10 ～ 情報交流会 (中会議場 2～4)		

日 程 表 2日目 3月8日(土)

	A会場 (一橋講堂)	B会場 (中会議場2~4)	ポスター会場 (特別会議室 101、102、中会議場1)
9:00			
9:20 ~ 10:50	シンポジウム 7 (English Session) KHBM-JHBM Joint Symposium: functional human brain mapping in health and disease 座長：林 拓也、小林 哲生 演者：Jooyoung Oh、笠井 清登、 Kiwoong Kim、玉置 應子	9:20 ~ 10:50 シンポジウム 8 ヒトの脳に直接作用できる覚醒下手術 から見える脳機能 座長：木下 学、寺澤 悠理 演者：藤井 正純、中嶋 理帆、 田村 学、本村 和也	
10:00			
10:50 ~ 11:50	10:50 ~ 11:50 一般演題 2 一般 座長：阿部 修士、守田 知代 演者：小池 耕彦、池田 琢朗、 松平 泉、野田 賀大、 前澤 聡	10:50 ~ 11:50 教育講演 3 座長：伏見 育崇 演者：澤田 真寛	
11:00			
11:50 ~ 12:20	11:50 ~ 12:20 総 会		
12:00			
12:20 ~ 13:20		12:20 ~ 13:20 ランチョンセミナー 2 座長：高橋 英彦 演者：井桁 之総 共催：エーザイ株式会社	
13:00			
13:20 ~ 14:20	13:20 ~ 14:20 特別講演 (English Session) 座長：松田 哲也 演者：Helen S. Mayberg		
14:00			
14:20 ~ 15:20			14:20 ~ 15:20 ポスター 2
15:00			
15:20 ~ 16:50	15:20 ~ 16:50 シンポジウム 9 (English Session) Cutting-edge intracranial EEG technology for basic and clinical research 座長：柳澤 琢史、中嶋 理帆 演者：関谷 毅、小松三佐子、 Hui Ming Khoo、武見 充晃	15:20 ~ 16:50 シンポジウム 10 社会神経科学研究の最前線 座長：定藤 規弘、皆川 泰代 演者：鈴木 真介、近添 淳一、 出馬 圭世、松元まどか	
16:00			
16:50 ~	16:50 ~ 奨励賞授賞式・閉会式 座長：松田 哲也		
17:00			
18:00			

Schedule Day1 Friday, March 7

	Room A (Hitotsubashi Hall)	Room B (Conference Room)	Poster Room (Conference Room101, 102, Conference Room 1)
9:00	9:15 ~ Opening remarks		
10:00	9:20 ~ 10:50 Symposium #1 (Japanese Session) E/I balance in psychiatric disorder Speakers: Shiori Honda, Shunsuke Tamura, Takuya Takahashi, Takanobu Nakazawa Chair: Kiyotaka Nemoto, Yoshifumi Abe	9:20 ~ 10:50 Symposium #2 (Japanese Session) Role of functional MRI in neuroscience Speakers: Yuku Hori, Mayu Takahashi, Tatsuya Umeda, Kenji Ogawa Chair: Jiajia Yang, Yukiko Hori	
11:00	10:50 ~ 12:20 Symposium #3 (English Session) Elucidation of brain functions and disorders by data-driven bioinformatics approaches in human and non-human primates Speakers: Justine Cléry, Akiko Uematsu, Hideaki Suzuki, Yukinori Okada Chair: Kentaro Miyamoto, Shinsuke Koike	10:50 ~ 12:20 Symposium #4 (Japanese Session) Brain homeostasis and its dysfunction Speakers: Tomokazu Tsurugizawa, Morinobu Seki, Hirohisa Watanabe, Maiko Ono Chair: Hitoshi Shimada, Koji Kamagata	
12:00		12:20 ~ 13:20 Luncheon Seminar #1 (Japanese Session)	
13:00			
14:00	13:20 ~ 14:20 Educational Lecture #1 (Japanese Session) Speaker: Yoko Shigemoto Chair: Kohei Kamiya	13:20 ~ 14:20 Educational Lecture #2 (Japanese Session) Speaker: Hiroaki Mizuhara Chair: Akitoshi Ogawa	
15:00	14:20 ~ 15:20 Sponsored Symposium (Japanese Session)	14:20 ~ 15:20 Oral Session #1 (Both languages can be used) Speakers: Yulei Shen, Noa Nakanishi, Shuhei Shibukawa, Yuki Yakumamoto, Takamitsu Iwata Chair: Akiko Uematsu, Masaki Fukunaga	
16:00	15:20 ~ 16:50 Symposium #5 (English Session) Frontiers in Magnetic Measurement Technologies to Unravel Neural Dynamics, Metabolism, and Health Speakers: Tetsuo Kobayashi, Niall Holmes, Hiroyuki Kameda, Miho Emoto Chair: Madoka Matsumoto, Tomokazu Tsurugizawa	15:20 ~ 16:50 Symposium #6 (Japanese Session) Neuromodulation: from basic science to clinical application Speakers: Takahiro Osada, Naoto Kunii, Shinya Nakamura, Ritsuko Hanajima Chair: Kazumasa Uehara, Satoko Koganemaru	
17:00			16:50 ~ 17:50 Poster Session #1
18:00		18:10 ~ Welcome Reception	

Schedule Day2 Saturday, March 8

	Room A (Hitotsubashi Hall)	Room B (Conference Room)	Poster Room (Conference Room101, 102, Conference Room 1)
9:00			
9:20 ~ 10:50	Symposium #7 (English Session) KHBM-JHBM Joint Symposium: functional human brain mapping in health and disease Speakers: Jooyoung Oh, Kiyoto Kasai, Kiwoong Kim, Masako Tamaki Chair: Takuya Hayashi, Tetsuo Kobayashi	9:20 ~ 10:50 Symposium #8 (Japanese Session) Brain function studies during awake surgery Speakers: Masazumi Fujii, Riho Nakajima, Manabu Tamura, Kazuya Motomura Chair: Manabu Kinoshita, Yuri Terasawa	
10:00			
10:50 ~ 11:50	10:50 ~ 11:50 Oral Session #2 (Both languages can be used) Speaker: Takahiko Koike, Takuro Ikeda, Izumi Matsudaira, Yoshihiro Noda, Satoshi Maesawa Chair: Nobuhito Abe, Tomoyo Morita	10:50 ~ 11:50 Educational Lecture #3 (Japanese Session) Speaker: Masahiro Sawada Chair: Yasutaka Fushimi	
11:00			
11:50 ~ 12:20	11:50 ~ 12:20 Business Meeting		
12:00			
12:20 ~ 13:20		12:20 ~ 13:20 Luncheon Seminar #2 (Japanese Session)	
13:00			
13:20 ~ 14:20	13:20 ~ 14:20 Special Lecture #2 (English Session) Speaker: Helen Mayberg Chair: Tetsuya Matsuda		
14:00			
14:20 ~ 15:20			14:20 ~ 15:20 Poster Session #2
15:00			
15:20 ~ 16:50	15:20 ~ 16:50 Symposium #9 (English Session) Cutting-edge intracranial EEG technology for basic and clinical research Speakers: Tsuyoshi Sekitani, Misako Komatsu, Khoo Hui Ming, Mitsuaki Takemi Chair: Takufumi Yanagisawa, Riho Nakajima	15:20 ~ 16:50 Symposium #10 (Japanese Session) Horizon of social neuroscience Speakers: Shinsuke Suzuki, Junichi Chikazoe, Keise Izuma, Madoka Matsumoto Chair: Norihiro Sadato, Yasuyo Minagawa	
16:00			
16:50 ~	16:50 ~ Award Ceremony and Closing Remark		
17:00			
18:00			

プログラム

1 日目 3月7日 (金)

A 会場

開会挨拶

9:15 ~

会 長：松田 哲也 (玉川大学 脳科学研究所 / 大学院脳科学研究所 教授)

シンポジウム 1 「専門領域から見た精神疾患の E/I バランス障害」

9:20 ~ 10:50

座長：根本 清貴 (筑波大学)
阿部 欣史 (慶應義塾大学)

- S1-1** 治療抵抗性精神疾患における GABA・グルタミン酸機能
Glutamate and γ -Aminobutyric Acid Levels in Patients with Treatment-Resistant Psychiatric Disorders
本多 葉
Renaissance School of Medicine, Stony Brook University Department of Psychiatry and Behavioral Health
- S1-2** 統合失調症の脳波異常の背後にある E/I バランス障害
Excitatory/Inhibitory imbalance underlying EEG abnormality in schizophrenia
田村 俊介
宮崎大学 医学部臨床神経科学講座精神医学分野
- S1-3** ヒト生体脳での AMPA 受容体の可視化
Visualization of AMPA receptor in human brain
高橋 琢哉
横浜市立大学 大学院医学研究科生理学
- S1-4** 疾患モデルマウスを用いた自閉スペクトラム症の神経基盤解析
Understanding the neurobiological basis of autism through disease model mice
中澤 敬信
東京農業大学 生命科学部バイオサイエンス学科

シンポジウム 3 「Elucidation of brain functions and disorders by data-driven bioinformatics approaches in human and non-human primates」 (English) 10:50 ~ 12:20

座長：宮本 健太郎 (理化学研究所 CBS)
小池 進介 (東京大学)

- S3-1** Using behavioral and imaging data to disentangle social relationships in the common marmoset
Justine Cléry
McGill University

- S3-2** コモンマーマセットにおける養育環境と遺伝子多型がもたらす脳や性格形成への影響
The Impact of Rearing Environment and Genetic Polymorphisms on Brain and Personality
植松 明子
理化学研究所 BDR 脳コネクトミクスイメージング研究チーム
- S3-3** 本邦データベースを用いた脳 MRI 画像表現型に基づいた動脈硬化性病変に関わるゲノム解析
Genomic analysis of atherosclerosis using brain MRI imaging phenotypes from international databases
鈴木 秀明
東北大学病院 循環器内科
- S3-4** 遺伝統計学による病態解明、個別化医療、ゲノム創薬
Statistical genetics elucidates biology, medicine, and drug discovery
Yukinori Okada
Graduate School of Medicine, the University of Tokyo Department of Genome Informatics /
Osaka University Graduate School of Medicine Department of Statistical Genetics / RIKEN
Center for Integrative Medical Sciences Laboratory for Systems Genetics
協賛：科研費・学術変革領域研究 B
「コントラリアン生物学の創生：逆張り戦略がもたらす新しい社会均衡のしくみ」

教育講演 1

13:20 ~ 14:20

座長：神谷 昂平（東邦大学）

- EL1** 脳のネットワーク解析に親しみをもとう
Let's familiar with brain network analysis
重本 蓉子
国立精神・神経医療研究センター病院 放射線診療部

スポンサードシンポジウム「大規模データと数理モデルを活用した脳イメージング研究の新展開」

14:20 ~ 15:20

座長：松田 哲也（玉川大学 脳科学研究所 教授／脳神経科学統合プログラム プログラムオフィサー）

上口 裕之（理化学研究所 脳神経科学研究センター 副センター長／

脳神経科学統合プログラム 中核拠点 副プロジェクトリーダー）

- SS-1** デジタル脳開発に向けた神経・精神疾患データベース構築と数理モデリング
田中 沙織
株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所 認知機構研究所 室長
- SS-2** 脳コネクトーム種間トランスレーションの研究技術開発
林 拓也
理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー

- SS-3** ヒト疾患縦断データによる脳回路機能解明と霊長類モデルでの検証、臨床デジタル脳研究へ
岡田 剛
広島大学 大学院医系科学研究科 特定教授

協賛 日本医療研究開発機構 (AMED)

シンポジウム 5 「Frontiers in Magnetic Measurement Technologies to Unravel Neural Dynamics, Metabolism, and Health」 (English)

15:20 ~ 16:50

座長：松元 まどか (京都大学)

釣木澤 朋和 (産業技術総合研究所)

- S5-1** 神経磁場脳マッピングの未来に向けた OPM と 7mT-MRI スキャナの開発
Development of OPM and 7mT-MRI Scanner towards the Future of Neuromagnetic Brain Mapping
小林 哲生
京都大学 成長戦略本部
- S5-2** Wearable Magnetoencephalography: Development, application and commercialisation.
Niall Holmes
University of Nottingham (and Cerca Magnetics Limited)
- S5-3** 安定同位体標識水 MRI による脳内水動態の可視化
Neurofluid MR Imaging Using Stable Isotope-Labeled Water
亀田 浩之
北海道大学病院 放射線診断科 / 北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野 放射線学教室
- S5-4** アルツハイマー病モデルマウスにおける酸化ストレスイメージング研究
Study of Brain Oxidative Stress Imaging Using an Alzheimer's Disease Model Mouse
Miho Emoto
Health Sciences University of Hokkaido Department of Clinical Laboratory Science, School of Medical Technology,
共催：JST ムーンショット目標 9 「脳指標の個人間比較に基づく福祉と主体性の最大化

1 日目 3 月 7 日 (金)

B 会場

シンポジウム 2 「多種・多次元・多階層な脳機能計測の融合における fMRI の役割」 9:20 ~ 10:50

座長：楊 家家 (岡山大学)

堀 由紀子 (量子科学技術研究開発機構)

- S2-1** ヒトからサルへ：fMRI と化学遺伝学的手法によるリバーストランスレーショナル研究
From humans to monkeys: Reverse translational research using fMRI and chemogenetics
堀 祐樹
量子科学技術研究開発機構 脳機能イメージング研究センター
- S2-2** 随意性急速眼球運動 (サッケード) の出力神経回路とそのトリガー神経機構
Neural circuit for saccadic eye movement and its trigger mechanism
高橋 真有
東北大学 大学院医学系研究科 生体システム生理学
- S2-3** 小型霊長類マーモセットの皮質層別 fMRI 計測
Laminar fMRI in marmosets
梅田 達也
京都大学医学部 脳統合イメージング分野
- S2-4** ヒト感覚運動野における身体や運動の神経表象の検討
Neural representations of body and movement in human sensorimotor cortex
小川 健二
北海道大学 大学院文学研究院

シンポジウム 4 「脳内恒常性維持機構とその破綻」

10:50 ~ 12:20

座長：島田 斉 (新潟大学)

鎌形 康司 (順天堂大学)

- S4-1** 水分子を通じた脳機能の維持とその破綻の計測
Measurement of the maintenance and disruption of brain function through water molecules
釣木澤 朋和
産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 / 筑波大学 システム情報系 / ケベック州立大学トロワリエール校 / 東京慈恵会医科大学
- S4-2** α -synucleinopathy における glymphatic system
Glymphatic system in alpha-synucleinopathy
関 守信
慶應義塾大学医学部 神経内科 / 慶應義塾大学病院 パーキンソン病センター / 慶應義塾大学パーキンソン病研究センター

S4-3 エネルギー代謝とネットワークから考える脳内恒常性維持機構とその破綻
Mechanisms of Brain Homeostasis and Their Breakdown: Focus on Energy Metabolism and Networks
渡辺 宏久
藤田医科大学医学部 脳神経内科学

S4-4 認知症・神経変性疾患を取り巻く脳内恒常性維持機構とその破綻
Brain homeostasis mechanisms surrounding dementia and neurodegenerative diseases.
小野 麻衣子
量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所

ランチョンセミナー 1

12:20 ~ 13:20

座長：阿部 修（東京大学大学院 医学系研究科 放射線医学講座 教授）

LS1-1 Ultra-strong gradient is becoming accessible to clinical researchers
神谷 昂平
東邦大学 医学部 医学科 講師

LS1-2 ヒト脳情報表現の高時空間分解能での理解に向けた超高磁場 MRI の活用
宮脇 陽一
国立大学法人電気通信大学 大学院情報理工学研究科 機械知能システム学専攻 教授
共催：シーメンスヘルスケア株式会社

教育講演 2

13:20 ~ 14:20

座長：小川 昭利（順天堂大学）

EL2 fMRI と EEG の同時計測：ヒト脳ダイナミクスの理解をめざして
Simultaneous fMRI and EEG: Toward understanding human brain dynamics
水原 啓暁
奈良女子大学 研究院生活環境科学系

一般演題 1 「早期キャリア研究者奨励賞」

14:20 ~ 15:20

座長：植松 明子（理化学研究所 BDR）
福永 雅喜（生理学研究所）

O1-1 断片化情報伝達における概念表象の神経アライメント：ハイパースキャン fMRI 研究
Intersubject Neural Alignment of Conceptual Representations during Fragmented Communication
Shen Yulei
RIKEN Center for Brain Science Inter-Brain Dynamics Collaboration Unit / Nagoya University Graduate School of Informatics, Department of Cognitive & Psychological Sciences

- 01-2** 視覚像再構成による色恒常性の神経表現の解明
Unveiling neural representations of color constancy through visual image reconstruction
中西 希天
京都大学 文学部
- 01-3** 大うつ病の皮質下分析：定量的感受性マッピングによる鉄とミエリンの洞察
Subcortical iron and myelin analysis in major depression via quantitative susceptibility mapping
渋川 周平
東京大学 総合文化研究科 進化認知科学研究センター／順天堂大学
- 01-4** fMRI と機械学習を用いた、精神病と依存の枠組みから見た覚醒剤使用者の神経基盤の解明
Neural Basis of Methamphetamine from Frameworks of Psychosis and Addiction: fMRI, Machine Learning
山本 祐輝
東京科学大学 精神行動医科学分野
- 01-5** 海馬 sharp-wave ripple は自己生成的思考の発生に関係する
Hippocampal sharp-wave ripples correlate with naturally occurring self-generated thoughts in humans
岩田 貴光
大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学／堺市立総合医療センター 脳神経外科

シンポジウム 6 「ニューロモデュレーションの最前線：基礎技術開発から臨床応用へ」 15:20 ~ 16:50

座長：上原 一将（豊橋技術科学大学）

小金丸 聡子（大阪医科薬科大学）

- S6-1** 超音波を用いた非侵襲的脳刺激：皮質および皮質下ネットワークへの精密アプローチ
Noninvasive ultrasound brain stimulation: targeting cortical and subcortical networks
長田 貴宏
順天堂大学 医学部生理学第一講座
- S6-2** 頭蓋内脳波を用いたニューロフィードバック
Neurofeedback based on intracranial EEG
國井 尚人
自治医科大学 脳神経外科
- S6-3** マカクザルへの rTMS の適用：脳機能研究の新たな展望
Application of rTMS to macaque monkeys for basic research into brain function
中村 晋也
東北大学 大学院生命科学研究所

S6-4 TMS 研究の基礎と臨床
Basic and clinical research with TMS
花島 律子
鳥取大学医学部 脳神経内科

1日目 3月7日(金)

ポスター会場

ポスター 1

16:50 ~ 17:50

- P1-1** 深層学習と判断根拠可視化技術を用いた視覚知覚情報特徴量抽出の試み
Neural feature extraction for visual perception by combining deep neural networks with XAI
山崎 秀人
豊橋技術科学大学大学院 工学研究科
- P1-2** マカクザルにおける偏心度表現と側頭葉カテゴリー表象領域の神経代謝構築の関連
Eccentricity representation shapes the neurometabolic organization in macaque IT categorical region
大石 浩輝
University of California, Berkeley Department of Psychology
- P1-3** 視覚シンボルを用いた抽象的図形の処理にかかわる神経機構の解明
Neural mechanisms involved in processing object abstraction via “visual symbolic icons”
馬場 美香
理化学研究所・脳神経科学研究センター 思考・実行機能研究チーム
- P1-4** Biological motion の数の知覚：fMRI 研究
Perceiving numerosity with biological motion: an fMRI study
三野 華
東京大学 眼科
- P1-5** 音階を用いた聴覚課題による前頭側頭葉の聴覚予測反応の検討
Analysis of Frontal Auditory Prediction Responses Through a Cascade-based Auditory Mismatch Paradigm
藤谷 茂太
東京大学医学部附属病院 脳神経外科
- P1-6** 機能的結合性解析によるサル線条体における体部位局在の可視化
Somatotopic organization in the striatum of macaque monkeys studied by functional connectivity
郷田 直一
生理学研究所 生体機能情報解析室／総合研究大学院大学
- P1-7** 運動感覚のボトムアップとトップダウンの神経プロセス
Bottom-up and top-down neural processes for kinesthetic awareness
Ozge Ozlem Saracbası
Center for Information and Neural Networks (CiNet) / Graduate School of Frontier Biosciences, Osaka University, Suita, Japan

- P1-8** 左右非対称な速度条件での歩行観察によって生じる脳活動
Brain activity induced by observing walking in an asymmetric speed condition
北村 将也
同志社大学大学院 スポーツ健康科学研究科
- P1-9** 補足運動野と前補足運動野は動かないという意志決定の情報を有する
The Supplementary Motor Area and Pre-Supplementary Motor Area Represent the Intention Not to Move
木口 創太郎
札幌医科大学 医学部医学科／札幌医科大学 医学部神経科学講座
- P1-10** ERP を用いた空間的注意が聴触覚統合に与える影響の検討
An ERP Study on the Effects of Spatial Attention on Audio-Tactile Integration
何松 隼弥
岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科
- P1-11** 多感覚意思決定における視聴覚統合に対する感覚の不確実性の影響
Effect of Sensory Uncertainty on Audiovisual Integration in Multisensory Decision-Making
Yang Xiangfu
岡山大学 学術研究院ヘルスシステム統合科学学域
- P1-12** 海馬多切術による時間情報処理機構への影響評価：脳活動イメージングおよび行動評価による検討
Influence of Multiple Hippocampal Transection on Temporal Processing: Imaging and Behavioral Results
大貫 良幸
自治医科大学 脳神経外科学講座
- P1-13** 競技かるた熟練者における札認識の脳内ネットワーク基盤
Brain networks underlying 'karuta-fuda' cognition in karuta experts
田中 美羽
京都大学大学院医学研究科 高次脳科学講座脳統合イメージング分野
- P1-14** ERP を用いた記憶タスクが時間知覚に与える影響の検討
Investigating the Effect of Memory Tasks Using ERP on Time Perception
谷澤 悠牙
岡山大学大学院 ヘルスシステム統合科学研究科
- P1-15** 報酬タイプ間で一貫性を持つ個人間比較可能な効用の神経デコーディング
Neural Decoding of Interpersonally Comparable Utility with Consistency Across Reward Types
松森 嘉織好
玉川大学 脳科学研究所

- P1-16** 畏敬の念の神経メカニズムに対する映像サイズの影響
The Influence of Image Size on Neural Mechanisms of Awe
大野 優美子
パナソニックホールディングス株式会社 DX・CPS 本部
- P1-17** フェイシャルマッサージ後の心地よさが脳機能結合性に与える影響
Effects of comfort after facial massage on functional brain connectivity
長谷部 祐一
日本メナード化粧品株式会社 総合研究所／名古屋大学大学院医学系研究科 名古屋大学メナード協同研究講座
- P1-18** 内省に基づいて適切な探索行動を生み出す行動神経基盤の解明
Neural mechanism of coordination between metacognitive assessment and explorative action generation
辛 宗浩
理化学研究所 CBS
- P1-19** 自己と他者のメタ認知を比較する行動神経メカニズム
Behavioral and neural mechanisms underlying prospective matching of self and others' metacognition
林 明明
理化学研究所 脳神経科学研究センター
- P1-20** 島皮質の脳機能的結合と非特異的身体症状との関連の検討
The relationship between functional connectivity of the insular cortex and somatic symptoms
服部 慎
広島大学大学院 医系科学研究科精神神経医科学
- P1-21** 体型に対する偏見の内在化に関わる神経結合
Neural connectivity related with weight bias internalization
中村 優子
東京大学大学院 総合文化研究科
- P1-22** ヒト内側側頭葉の β 活動は匂いの情動価と相関する
Beta band power correlates to odor valence in the human medial temporal lobe; an iEEG study
井林 賢志
自治医科大学 脳神経外科
- P1-23** 感覚処理感受性と情動認知の関連性：VR 課題による検証
Emotional perception in persons with high sensory processing sensitivity
濱 智子
愛媛県立医療技術大学 保健科学部 臨床検査学科

- P1-24** 悲しい音楽を好む認知プロセスの解明
Identifying the cognitive processes underlying the reasons why people prefer sad music.
土屋 百世
東北大学 加齢医学研究所／東北大学 医学系研究科
- P1-25** 食品選択課題を通じた二階の欲求のfMRI研究の予備調査
Preliminary survey for an fMRI Research on Second-Order Desires Through a Food Choice task.
小林 汰輔
玉川大学 脳科学研究所
- P1-26** ゴキブリ恐怖症傾向者に対する連続フラッシュ抑制を用いた暴露の効果
Effectiveness of Exposure Using Continuous Flash Suppression for Cockroach Phobia Tendencies
吉川 輝
早稲田大学 大学院人間科学研究科
- P1-27** リアルタイムで観察できる他者の視線が行動と意思決定に与える影響
The effect of real-time observed gaze of others on one's own behavior and decision-making process
中山 隼人
名古屋大学 情報学研究科
- P1-28** 二者同時脳刺激が対人協調に与える影響の検証
The effect of dual-brain stimulation on interpersonal coordination
栗原 勇人
早稲田大学 人間科学学術院
- P1-29** 二個体同時脳波計測を用いた刺激特徴への共同注意の神経基盤の検討
Neural basis of feature-based joint attention: A hyperscan EEG study
櫻井 悠介
名古屋大学 情報学研究科
- P1-30** 成人における関係流動性の神経解剖学的な基盤
Neuroanatomical Basis of Relational Mobility in Adults
前田 友吾
玉川大学 脳科学研究所
- P1-31** 'Need for Cognition'(認知欲求)と社会的な課題解決への関与選好との関係
The Link Between Intrinsic Motivation for Cognitive Engagement and Social Problem Solving
Ruri Katsunuma
The University of Queensland, Faculty of Health and Behavioural Sciences／National Center of Neurology and Psychiatry, National Institute of Mental Health, Department of Behavioral Medicine

- P1-32** 倫理的意思決定における犠牲者価値の神経基盤の解明
Investigating the Neural Mechanism of Victim Approval in Moral Decision-making
Liu Yu
東北大学 医学系研究科／東北大学 加齢医学研究所
- P1-33** 社会関係資本と神経構造の相互比較
Neurostructural Correlates of Social Capital Disparities
細川 研知
東北大学大学院 情報科学研究科
- P1-34** 量刑判断の神経基盤：共感的情報による視点の取得
The Neural Basis of Sentencing Judgments: Acquisition of Perspective through Sympathetic Information
花田 捺美
自然科学研究機構 生理学研究所／総合研究大学院大学 生命科学研究所
- P1-35** 二領域 tDCS による非母語話者の P600 の変調：韓国語母語話者における言語転移効果の検討
Modulating P600 in Non-native Speakers by Dual-site tDCS: Language Transfer in Native Koreans
Mohamed Salem Abouzeid Alaa
Kyushu University Department of Linguistics, Graduate School of Humanities
- P1-36** バイリンガルにおける第一言語と第二言語のリスニング時の脳活動
- 日本語と英語での予備的検討 -
Brain activity during first and second language listening in bilinguals.
岡田 実礼
玉川学園 高等部
- P1-37** 脳活動の反復抑制による漢字単語と書体の処理の区別
Distinct neural processing of word and typeface in Japanese Kanji by repetition suppression paradigm
上杉 侑菜
産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門／筑波大学大学院 ニューロサイエンス学位プログラム
- P1-38** fMRI を用いた覚醒下乳児の脳活動の測定
Measuring brain activity in awake infants using fMRI
梅川 璃空
中央大学 文学研究科
- P1-39** 思春期の脳構造発達における性ホルモンの役割
The Role of Pubertal Hormone in Structural Brain Development across Adolescence
蔡 林
東京大学 大学院総合文化研究科

- P1-40** 家庭の経済状況と思春期世代の子どものテストステロン濃度の関連
Relationship between family economic status and testosterone levels in adolescent children.
汪 明琛
玉川大学 脳科学研究科
- P1-41** 思春期における戦略的向社会行動と非戦略的向社会行動の特徴
Characteristics of strategic and non-strategic prosocial behavior in adolescence
田中 大貴
玉川大学 脳科学研究所
- P1-42** 扁桃体腫大を伴う内側側頭葉てんかんの発作時頭皮脳波の頭頂葉への伝播所見の新規顕性化
seizure propagation to the parietal lobe in mesial temporal lobe epilepsy with amygdala enlargement
安達 智美
京都大学大学院医学研究科 臨床神経学
- P1-43** 拡散 MRI による脳間質液動態評価は A β 陽性への転換を予測し得る
Interstitial fluid dynamics assessed by diffusion MRI may predict A β positivity conversion
高林 海斗
順天堂大学大学院 放射線診断学講座
- P1-44** うつ病におけるエスシタロプラム治療への反応性と海馬体積の関連性の検討
Relationship between escitalopram responsiveness and hippocampal volume in patients with depression
上敷領 俊晴
広島大学大学院 医系科学研究科精神神経医科学
- P1-45** 治療抵抗性うつ病患者における rTMS 療法への治療反応に対する前帯状皮質構造の寄与
Contribution of the ACC structure to treatment response to rTMS in patients with TRD
盛山 宗太郎
慶應義塾大学病院 精神神経科学科
- P1-46** 強迫症における前頭 - 線条体 - 辺縁系ネットワーク関連セットシフティング
Fronto-striato-limbic network connectivity related Set-shifting in obsessive-compulsive disorder
Nadire Aximu
千葉大学大学院医学研究院認知行動生理学／千葉大学子どものこころの発達教育研究センター
- P1-47** 複数の精神疾患における機能的結合サブタイプの特定
Identifying Subtypes of Functional Connectivity Across Psychiatric Disorders
Song Anping
東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学

- P1-48** 自閉スペクトラム症の感覚特性と時間情報処理の神経基盤：機能的指標からの検討
Relationships Between Temporal Processing and Sensory Profiles in Autism Spectrum Disorder
鹿内 友美
昭和大学 発達障害医療研究所
- P1-49** ADHD におけるメチルフェニデートによる注意制御変化の神経基盤
Neural Correlates of Methylphenidate-induced Changes in Attention Control in ADHD
清水 正彬
東京科学大学 大学院医歯学総合研究科
- P1-50** 神経性やせ症における治療反応性に関連した脳構造の変化
Structural Brain Changes Associated with Treatment Responsiveness in Anorexia Nervosa
高村 恒人
国立精神神経・医療研究センター 精神保健研究所 行動医学研究部／国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 研究所 戦略的研究部門 医用深層学習研究室
- P1-51** 若年健常成人を対象とした、自身の体型の認識に関する男女差の検討
Investigating sex differences in one's body perception recruiting young healthy individuals
濱本 裕美
東北大学 学際科学フロンティア研究所／東北大学 電気通信研究所／東北大学 加齢医学研究所
- P1-52** 統合失調症における神経解剖学的サブタイプおよび疾患進行分類の妥当性検証
Validation of Neuroanatomical Subtype and Disease Progression Classification in Schizophrenia
Kong Lingchen
The University of Tokyo Graduate School of Art and Sciences
- P1-53** 脳形態画像に依存しない Florzotolau 18F PET 画像の半定量化手法の検討
Exploring an Alternative MRI-free Semi-Quantification Method for Florzotolau 18F PET
中山 顕次郎
筑波大学大学院 人間総合科学学術院
- P1-54** 安静時 fMRI を用いた神経膠腫の神経血管機能評価
Evaluating neurovascular function in glioma using resting-state fMRI
神澤 純
東京大学医学部附属病院 放射線科
- P1-55** トラクトメトリー解析の装置内・装置間・施設間再現性を評価するためのデータセットの構築
Tractometry dataset for evaluating intra-scanner, inter-scanner, and inter-site reproducibility
田熊 大輝
生理学研究所 感覚認知情報研究部門／総合研究大学院大学 先端学術院 生理科学コース

- P1-56** Q空間画像化法に基づくマウス脳内の Neurofluid 動態の可視化の検討
Visualization of Neurofluid Dynamics in Mouse based on Q-space Imaging
小林 勇登
東海大学 工学研究科 電気電子工学専攻
- P1-57** ジストニアに対する基底核機能マッピングに基づいた脳深部刺激術
Deep brain stimulation based on functional mapping of the basal ganglia for dystonia
野崎 孝雄
浜松医科大学 脳神経外科
- P1-58** TMSによる神経モデルに基づく脳機能マッピング
Brain Mapping Based on Neuron Models Using TMS
上田 悠生
千葉大学 総合工学科医工学コース
- P1-59** 安静時脳機能結合における機能ダイナミクスの個人特性予測への有用性の検討
Exploring the Utility of Functional Dynamics in RSFC for Individual Trait Prediction
政岡 幸樹
同志社大学 脳科学研究科
- P1-60** ジェンダーの多様性と安静時機能的結合の関連
The Relationship Between Gender Diversity and Resting-State Functional Connectivity
岡本 遙
早稲田大学 大学院人間科学研究科
- P1-61** コネクトーム上の結合振動子系を用いたリザバー計算
Reservoir computing using a coupled oscillator system on the connectome
大熊 天真
広島大学 情報科学部
- P1-62** コネクトームに基づくリザバー計算の時間弁別課題への適用
Applying connectome-based reservoir computing to a duration discrimination task
高橋 温子
広島大学 情報科学部
- P1-63** コネクトーム上でシミュレートされた領野間通信と実際の機能的結合の関連づけ
Relating simulated interareal communication in the connectome to empirical functional connectivity
福島 誠
広島大学 大学院先進理工系科学研究科

- P1-64** 光ポンピング磁力計のためのチャンネルゲイン補正を組み込んだ Signal Space Projection 法の提案
Variational Bayesian Calibrated Signal Space Projection (VBCSSP) for Optically Pumped Magnetometers
鈴木 啓大
ATR 脳情報解析研究所 計算脳イメージング研究室
- P1-65** EEG 信号源推定に基づくタスク非関連思考中の大規模ネットワーク結合の探索
Exploring EEG Source-based Large-scale Network Connectivity During Task-Unrelated Thought
巖 翔
早稲田大学 人間科学研究科
- P1-66** サンプルサイズと PCA の安定性：大規模サンプルから抽出した主成分カーネルで小規模サンプルの再現性を向上
Sample Size and PCA Stability: Components Extracted from Large Sample Enhance the Small-Sample Study
張 雲鳳
東北大学 大学院情報科学研究科

2日目 3月8日(土)**A会場****シンポジウム 7 [KHBM-JHBM Joint Symposium: functional human brain mapping in health and disease] (English)**

9:20 ~ 10:50

座長：林 拓也（理化学研究所 BDR）

小林 哲生（京都大学）

- S7-1** Brain Connectivity Changes in Delirium: From Acute Network Disruption to Chronic Cognitive Decline
Jooyoung Oh
Department of Psychiatry, Gangnam Severance Hospital, Yonsei University, College of Medicine
- S7-2** 大規模 MRI データを用いた統合失調症の脳病態回路研究
Investigations into brain circuit alterations in schizophrenia based on large-scale MRI analysis
笠井 清登
東京大学大学院医学系研究科 精神医学分野
- S7-3** Atomic brain magnetometry toward a wearable brain computer interface
Kiwoong Kim
Dept. of Physics, Chungbuk National University
- S7-4** Neurochemical changes during NREM and REM sleep for learning and memory in humans
玉置 應子
理化学研究所 脳神経科学研究センター／理化学研究所 開拓研究本部

一般演題 2 「一般」

10:50 ~ 11:50

座長：阿部 修士（京都大学）

守田 知代（情報通信研究機構）

- O2-1** 顕著性ネットワークにより橋渡しされるアイコンタクトと共同注意：ハイパースキャニング fMRI 研究
Shared Neural Mechanisms of Eye Contact and Joint Attention: Insights from Hyperscanning fMRI
小池 耕彦
理化学研究所 脳神経科学研究センター／自然科学研究機構 生理学研究所
- O2-2** 高解像度機能的 MRI による霊長類社会性知覚の神経ネットワークの解明
Cross-species comparisons of social perception network in primates using high-resolution fMRI
池田 琢朗
理化学研究所 生命機能科学研究センター

- 02-3** 白質線維束の特性における親子の類似性
Parent-offspring similarities in white matter tissue properties
松平 泉
東北大学 学際科学フロンティア研究所／東北大学 スマート・エイジング学際重点研究センター
- 02-4** ランダム化比較試験による治療抵抗性うつ病に対する単相性 4 連発磁気刺激療法の有効性の検証
Efficacy of quadripulse transcranial magnetic stimulation therapy for treatment-resistant depression
野田 賀大
慶應義塾大学 医学部精神・神経科学教室／国際医療福祉大学・三田病院 精神科
- 02-5** ニューロモデュレーション手術におけるターゲットの機能ネットワーク的特徴
Characteristics of functional networks for the targeting structures in neuromodulation surgery
前澤 聡
国立病院機構 名古屋医療センター 脳神経外科

総会

11:50 ~ 12:20

特別講演 (English)

13:20 ~ 14:20

座長：松田 哲也 (玉川大学 脳科学研究所／大学院脳科学研究所 教授)

- SL** Decoding Multimodal Recovery Signals to Optimize Deep Brain Stimulation Treatment for Depression
Helen S. Mayberg
Nash Family Center for Advanced Circuit Therapeutics Icahn School of Medicine at Mount Sinai
共催：文部科学省 共同利用・共同研究システム形成事業 学際領域展開ハブ形成プログラム
「スピン生命フロンティア (Frontiers of Spin Life Sciences: Spin-L)」

シンポジウム 9 [Cutting-edge intracranial EEG technology for basic and clinical research]
(English)

15:20 ~ 16:50

座長：柳澤 琢史 (大阪大学)
中嶋 理帆 (金沢大学)

- S9-1** フレキシブルエレクトロニクス技術を活用した血管内 BMI
Intravascular BMI using flexible electronics technology
Tsuyoshi Sekitani
The University of Osaka

- S9-2** 非ヒト霊長類における広域皮質脳波を用いたデータ駆動型機能マッピング
Data driven functional mapping with cortical-wide electrocorticography in non-human primates
小松 三佐子
東京科学大学 総合研究院
- S9-3** Studying hippocampal sharp wave ripples using simultaneous intracranial EEG-fMRI in human
Hui Ming Khoo
Department of Neurosurgery, Osaka University Graduate School of Medicine
- S9-4** 信頼できるニューロテクノロジーの未来を築く
Building a Trustworthy Future for Neurotechnology
武見 充晃
慶應義塾大学 大学院理工学研究科

奨励賞授賞式

16:50 ~

閉会挨拶

会 長：松田 哲也（玉川大学 脳科学研究所／大学院脳科学研究所 教授）

16:50 ~

2 日目 3 月 8 日 (土)

B 会場

シンポジウム 8 「ヒトの脳に直接作用できる覚醒下手術から見える脳機能」

9:20 ~ 10:50

座長：木下 学 (旭川医科大学)

寺澤 悠理 (慶應義塾大学)

- S8-1** 覚醒下手術による上側頭回の電気刺激マッピングと語音認知 / 把持
Electrical stimulation mapping of the superior temporal gyrus in awake surgery and phonological perception/retention
藤井 正純
福島県立医科大学医学部脳神経外科学講座
- S8-2** 覚醒下手術からみえる高次脳機能と脳の可塑性
Neurocognitive function and plasticity evidenced by direct electrical stimulation in awake surgery
中嶋 理帆
金沢大学 リハビリテーション科学領域
- S8-3** 覚醒下手術中脳機能マッピング検査から脳機能を可視化する
Visualizing Brain Function from Intraoperative Brain Mapping in Awake Surgery
田村 学
東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 / 東京女子医科大学 脳神経外科
- S8-4** 高次脳機能温存を目指したグリオーマに対する覚醒下手術
Awake brain mapping for the patient with diffuse gliomas to preserve neurocognitive functions
本村 和也
静岡県立静岡がんセンター 脳神経外科 / 名古屋大学医学部 脳神経外科

教育講演 3

10:50 ~ 11:50

座長：伏見 育崇 (京都大学)

- EL3** 覚醒下手術が可能にするヒトにおける電気生理学的研究
Awake brain surgery plays a role in electroneurophysiology
澤田 真寛
京都大学 脳神経外科

ランチョンセミナー 2

12:20 ~ 13:20

座長：高橋 英彦（東京科学大学 精神行動医科学分野 主任教授）

LS2 アルツハイマー病抗 A β 抗体療法における ATN 分類スクリーニングバイオマーカーとエクソソームバイオマーカーの開発

井桁 之総

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 認知症科 部長

共催：エーザイ株式会社

シンポジウム 10 「社会神経科学研究の最前線」

15:20 ~ 16:50

座長：定藤 規弘（立命館大学）

皆川 泰代（慶應義塾大学）

S10-1 社会的状況における強化学習

Reinforcement learning in social contexts

鈴木 真介

一橋大学 ソーシャル・データサイエンス研究科

S10-2 情動情報学：脳神経科学と人文科学の融合による情動理解の新展開

Integrating Neuroscience and Humanities: New Frontiers in Emotion Research

近添 淳一

広島大学 脳・こころ・感性科学研究センター 感性データサイエンス部門

S10-3 自己について考える際の内側前頭前野 (mPFC) における認知プロセスの解明

Decomposing Cognitive Processes in the mPFC During Self-Thinking

出馬 圭世

高知工科大学 経済・マネジメント学群 / University of Southampton Department of Psychology

S10-4 行為制御とモニタリングに関わる神経ダイナミクス

Neurodynamics of action control and monitoring

松元 まどか

京都大学 大学院医学研究科附属脳機能総合研究センター

ポスター2

14:20 ~ 15:20

- P2-1** 高密度記録が明かすサル V4 の形状・テクスチャ応答クラスタ
High-density recording reveals sparse clusters for shape and texture encoding in macaque V4
Tomoyuki Namima
Osaka University / Center for Information and Neural Networks
- P2-2** 脳活動からの視覚再構成プロトコルの簡略化
Simplified Protocol for Visual Reconstruction from Brain Activity
小泉 友紀暁
東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学分野 / 玉川大学 脳科学研究所
- P2-3** 直観像保持者における視知覚とイメージの共通脳内表象
Common neural representation between visual perception and imagery in eidetikers.
新井田 光希
北海道大学 人間知・脳・AI 研究教育センター
- P2-4** 音声知覚のための皮質および皮質下の神経タイムスケール
Cortical and subcortical intrinsic neural timescales for speech perception
村井 翔太
東京大学 ニューロインテリジェンス国際研究機構
- P2-5** 課題時における EEG α 波パワー、自律神経リズム、および注意変動の関係に関する研究
The Relationship Between Alpha Power, ANS Rhythms, and Attention Fluctuation during Task Performance
XU YUTING
東京大学大学院 情報理工学系研究科
- P2-6** 左右手間で起こる固有受容感覚と運動の統合に関する脳内神経基盤
—脳卒中後の手指運動機能再建を目指して—
Neural basis of proprioceptive-motor integration between hands for post-stroke finger recovery
湯 硯迪
情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター 融合研究室 / 大阪大学大学院 生命機能研究科
- P2-7** 足関節制御に係る運動準備の神経生理学的指標の探索
— AMAS を用いた多面的評価による検証 —
Exploring Neurophysiological Indicators of Ankle Control via AMAS
伊藤 大輝
医療法人 恒仁会 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター / 京都橋大学大学院 健康科学研究科

- P2-8** 軽度腰痛者における視覚的疼痛誘発刺激に対する脳活動
Brain function in subjects with mild pain symptoms on the pain-induced visual stimulation task
田邊 素子
東北福祉大学 健康科学部
- P2-9** 短距離走者における脳拡散 MRI 定量指標の評価
Quantitative Diffusion MRI Metrics of the Brain in Sprinters
水田 光洋
順天堂大学大学院 放射線診断学講座
- P2-10** VR-ニューロフィードバックを用いた転倒予防トレーニング法の検討
Preliminary Study of VR-Based Neurofeedback Training for Fall Prevention in Healthy Adults
佐竹 良太
川崎医科大学 神経内科学
- P2-11** 運動制御における腹側中脳の因果的役割
The causal role of the ventral midbrain on human motor control: an fMRI neurofeedback study
菅原 翔
東京都医学総合研究所 脳機能再建プロジェクト
- P2-12** 視交叉上核と関連した脳活動の日内変動を示す大脳領域
Cerebral regions showing diurnal variation of brain activity related to the suprachiasmatic nucleus
小川 昭利
順天堂大学
- P2-13** 超高磁場レイヤー fMRI を用いたマーモセット第一次体感皮質の振動刺激応答特性の検討
Marmoset S1 responses to skin vibration using a mechanical stimulator with ultra-high field fMRI
WANG CHENYU
Okayama University Faculty of Interdisciplinary Science and Engineering in Health Systems
- P2-14** 神経性やせ症患者を対象とした治療前後比較: 身体関連視覚処理領域からの安静時機能的結合変化
Resting-state functional connectivity from body-image regions in anorexia nervosa after treatments
濱本 裕美
東北大学 学際科学フロンティア研究所/東北大学 電気通信研究所/東北大学 加齢医学研究所

- P2-15** スクリーンタイムと認知機能の関係：被殻の媒介効果
Association between screen time and cognitive function: the partially mediating role of putamen
寿 秋露
福井大学 子どものこころの発達研究センター／大阪大学 大学院連合小児発達学研究科福井校
- P2-16** 数学脳に関わる神経機構：数的操作における運動前野の神経再利用
Neuronal recycling of the premotor cortex during numerical operations by the monkey
奥山 澄人
将道会総合南東北病院 脳神経外科／東北大学医学部医学系研究科 生体システム生理学
- P2-17** 瞑想経験者・筋力トレーニング実施者の安静時脳活動の比較検討
Comparison of Resting-state Brain Activity of Meditators and Strength Training Exercisers
澤登 日菜
早稲田大学大学院 人間科学研究科
- P2-18** 健常成人における幻聴様脳内表現
Auditory Hallucination-like Brain Representations in Healthy Adults
上田 光人
東京科学大学 大学院精神行動医科学分野
- P2-19** 不要さの異なる情報が洞察問題解決に与える影響
Effects of Meaningful and Meaningless Noise on Insight Problem Solving
大隈 玲志
早稲田大学 大学院人間科学研究科
- P2-20** 新規 DISC1 欠損型マカクザルモデルを用いた神経および行動表現型の多角的解析
A multidimensional study of neural and behavioral phenotypes in a novel DISC1-knockout macaque model
Lan Ziguo
Kyoto University Graduate School of Medicine, Department of Neuroscience / Kyoto University, Institute for the Advanced Study of Human Biology (WPI-ASHBi) / Kyoto University Graduate School of Medicine, Department of Frontier and International Psychiatry
- P2-21** 身体内部信号のバックグラウンド処理：心拍同期音省略による予測的符号化の検証
Background Processing of Bodily Signals: Predictive Coding Revealed by Heartbeat-Sound Omission
櫻木 麻衣
慶應義塾大学大学院 社会学研究科心理学専攻認知神経科学研究室／日本学術振興会特別研究員
- P2-22** 炎症と感情に関わる心身状態の関係に個人因子がおよぼす影響 - 感情制御、睡眠、内受容感覚 -
Effect of Individual Factors on inflammation and emotion
山岡 香央
株式会社ファンケル 総合研究所

- P2-23** 知覚意思決定における「あがり」の神経基盤の検討
Neural basis of choking under pressure in perceptual decision-making
小笠原 香苗
理化学研究所 脳神経科学研究センター／生理学研究所 脳機能計測・支援センター
- P2-24** Neurofeedback によるストレス下における課題の遂行
Effects of Neurofeedback on Task Performance Under Stress
渡邊 宇宙
新潟大学 人文学部人文学科
- P2-25** 脳内神経化学物質と社会性判断に関わる脳部位の構造との関係
Relationship between brain neurochemistry and structure of regions involved in social judgment
平石 博敏
浜松医科大学 光医学総合研究所 生体機能イメージング分野
- P2-26** rs-fMRI における因果的結合は専門性の有無で異なる：法的判断の task-fMRI と rs-fMRI との比較
Effective connectivity in rs-fMRI differed by expertise: Task-fMRI and rs-fMRI in legal judgement
浅水屋 剛
一橋大学 社会科学高等研究院
- P2-27** 道徳的意思決定に関係する心拍関連脳活動
Heartbeat-Related Brain Responses Guide Moral Decisions
CUI Shengbin
大阪大学
- P2-28** 社会的拒絶後の自己呈示における頭頂弁蓋部の活性化
Parietal Operculum Activation during Self-Presentation After Social Rejection
丁 一
東北大学 加齢医学研究所／日本学術振興会
- P2-29** 社会的排斥を観察しているときの傍観者の神経反応：脳波研究
Neural responses of bystander during observing social exclusion: An EEG study
鳥毛 颯樹
筑波大学大学院 ニューロサイエンス学位プログラム／国立研究開発法人 産業技術総合研究所
人間情報インタラクション研究部門
- P2-30** 値下げ表示と値上げ表示に対する消費者反応の神経基盤
An fMRI Study of Consumer Responses to Price Decreases and Price Increases
大方 翔貴
東北大学 医学系研究科

- P2-31** 内的発話解読に向けた光ポンピング磁力計による脳情報解析
Brain information analysis by Optically Pumped Magnetometer for covert speech decoding
榎原 学人
株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 計算脳イメージング研究室 (CBI) / 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学研究科
- P2-32** 言語領域における脳内ネットワークとの機能的結合の特徴
Characteristics of functional connections with brain networks in the language areas
水野 聡美
国立病院機構 名古屋医療センター リハビリテーション科
- P2-33** 皮質表面電気生理による言語機能マッピング
Mapping Language Function Using Cortical Surface Electrophysiology
橋本 黎
神戸大学大学院医学研究科・内科学講座 脳神経内科学分野 / 理化学研究所 生命機能科学研究センター 脳コネクトミクスイメージング研究チーム
- P2-34** 日本人吃音者における 2 つのサブタイプ—母音 / 子音優位型の発見
Unraveling the Vowel-Consonant Paradox: Two Subtypes of Japanese Stuttering
日下 絃
京都工芸繊維大学 情報工学専攻
- P2-35** 神経振動による日本語の空範疇の神経基盤の検討: MEG による研究
Investigating the Neural Basis of Japanese Empty Categories by Neural Oscillation: An MEG Study
山口 航輝
九州大学 大学院人文科学府
- P2-36** MRI 画像による加齢による脳構造の変化に関する調査
Investigation of Age-Related Changes in Brain Structures Using MRI Imaging
上田 一生
東京大学 大学院総合文化研究科進化認知科学研究センター / 信州大学 医療データサイエンス講座
- P2-37** 新生児期における皮質表面の形態的特徴と髄鞘化の関係に関する検討
The relationship between cortical morphology and myelination in neonates
保前 文高
東京都立大学 人文社会学部 / 東京都立大学 言語の脳遺伝学リサーチコア
- P2-38** 親の虐待被害経験と子の白質線維束における組織特性の関連
Parental early life adversity associates with white matter tissue properties in offspring
山口 涼
東北大学大学院 医学系研究科 / 日本学術振興会

- P2-39** 小児期逆境体験尺度と成人期の脳構造に関する疾患横断的検討
A Cross-Diagnostic Study of the Adverse Childhood Experiences Scale and Adult Brain Structure
頓所 詩文
東京大学医学部附属病院 精神神経科
- P2-40** UK バイオバンクコホートにおけるアルツハイマー病のポリジェニックリスクと脳微細構造との関連
Association Between Alzheimer's Polygenic Risk and Brain Microstructure in the UK Biobank Cohort
鄒 蕊
順天堂大学 医学研究科 放射線診断学講座／順天堂大学 医学研究科 データサイエンス
- P2-41** Disconnectome 解析を用いた脳卒中患者の白質線維束損傷度と運動機能の関連性評価
Assessment of White Matter Tract Damage and Motor Function in Stroke: Disconnectome Analysis
中野 英樹
京都橘大学 大学院健康科学研究科／京都橘大学 健康科学部理学療法学科
- P2-42** fMRI 機能的結合性プロファイルに基づく精神疾患患者の分類
Classifying patients with psychiatric disorders based on fMRI functional connectivity profiles
幸田 修一
第一三共株式会社 研究開発本部 プレシジョンメディシン統括部 トランスレーショナルサイエンス第二部 第二グループ
- P2-43** 2,548 人の健康なドライバーの灰白質容積値を用いた ADHD 特性と交通事故の関係解明
The correlation of ADHD traits and traffic crashes through brain structure data in 2,548 adults
Putra Handityo
長岡科学技術大学 電気電子情報工学分野工学脳情報工学研究室
- P2-44** 解離性同一症における交代人格の脳科学的実証
Neuroscientific Evidence of an Alter Personality in Dissociative Identity Disorder
梶村 昇吾
京都工芸繊維大学 情報工学・人間科学系
- P2-45** MR 構造画像を用いた神経性やせ症のバイオマーカー同定のための予備的研究
Identifying biomarkers for Anorexia Nervosa using structural MR imaging: A preliminary study
Bhusal Chhatkuli Ritu
Chiba University Research Center for Child Mental Development

- P2-46** ハイブリッド型モデルによる脳波 ERP データを用いた統合失調症判別
Schizophrenia Classification with a Hybrid Model Using EEG / ERP
横山 裕美
放送大学 教養学部／東京大学 情報基盤センター 情報メディア教育研究部門
- P2-47** 自閉スペクトラム症成人男性における右黒質の鉄沈着亢進
Elevated brain iron deposition of right substantia nigra in adult males with autism
板橋 貴史
昭和大学 発達障害医療研究所
- P2-48** うつ病患者の聴性定常反応：fMRI による結果
Auditory steady state responses in depressive patients: an fMRI study
上野 雄文
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター 精神科／九州大学大学院医学研究院 精神病態医学
- P2-49** インターネット依存症における神経情報処理の変容：安静時 fMRI を用いた Intrinsic Neural Timescale 解析
An Intrinsic Neural Timescale Analysis of Resting-State fMRI in Internet Addiction
TANG SUFANG
東京科学大学 精神行動医科学分野
- P2-50** 血糖値の上昇は後部島皮質の灰白質減少と関係する
Plasma glucose elevation is associated with gray matter volume reduction in the posterior insula
陳 蔚航
順天堂大学 生理学第一講座
- P2-51** 心拍誘発電位と心拍と連動した刺激との関係性
The relationship between heartbeat-evoked potential and cardiac timing: an EEG study
田仲 祐登
慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート
- P2-52** ヒト側坐核・島皮質前部間の白質線維束の構造特徴についての研究
Structural properties of white matter tract connecting human NAcc and AIIns cortex
小宮 聡海
東京大学大学院 教育学研究科／自然科学研究機構岡崎連携プラットフォームスピン生命科学コア
- P2-53** ヒト脳の錐体路周囲における MRI-PC 法と S-transform を用いた Neurofluid 動態の可視化検討
Neurofluid Dynamics detected by PC-MRI and S-transform in Peripyramidal Pathways of the Human Brain
渡邊 紅瑛
東海大学 工学研究科 電気電子工学専攻

- P2-54** NASCAR テンソル分解を用いたアルコール摂取が安静時脳ネットワークのダイナミクスに与える影響の解明
Alcohol's Impact on Resting-State Brain Network Dynamics Using NASCAR Tensor Decomposition
八軒 和輝
東京大学大学院 情報理工学研究科
- P2-55** 深層学習を用いた TMS 誘発 MEP の推定
Estimation of TMS-Induced MEPs Using Deep Learning
高瀬 春杜
千葉大学 工学部総合工学科医工学コース
- P2-56** スピンロック法による神経磁場依存 fMRI の撮像パラメータ：ファントム計測による検討
Neuro magnetic field dependent fMRI using spin-lock sequence: A phantom study
野界 武史
京都大学 成長戦略本部
- P2-57** エピソード記憶における時間的および空間的文脈再生を支える神経活動パターンの差異
Neural Activation Differences in Temporal and Spatial Context Retrieval of Episodic Memory
Wang Ruimin
佐賀大学理工学部 電気電子工学部門
- P2-58** fQSM データに対する呼吸・心拍生理学的ノイズ補正の効果
The impact of respiratory and cardiac physiological noise correction on fQSM data
Waggoner Allen
RIKEN Center for Brain Science
- P2-59** 脳画像プロトコルや前処理の違いによる脳構造特徴量の違いは年齢の影響も受ける
Age-related differences in brain structural features by protocol and preprocessing method
小池 進介
東京大学 大学大学院総合文化研究科進化認知科学研究センター／東京大学 心の多様性と適応の連携研究機構／東京大学 ニューロインテリジェンス国際研究機構
- P2-60** 脳構造画像における Traveling Subject (TS) + ComBat-GAM による Harmonization の検討
Harmonization by Traveling Subject (TS) + ComBat-GAM in structural brain imaging
舞草 伯秀
東京大学大学院 総合文化研究科進化認知科学センター

- P2-61** リシアンノイズをモデル化した神経突起マッピング
Mapping neurite density with Rician noise modeling
吉田 直史
理化学研究所生命機能科学研究センター 脳コネクトミクスイメージング研究チーム／熊本大学
大学院 生命科学研究部放射線診断学講座
- P2-62** 個人間同期のコネクトームベース予測モデル
Connectome-based predictive modeling of interpersonal synchrony
宮田 紘平
理化学研究所 脳神経科学研究センター／東京大学 大学院総合文化研究科
- P2-63** 脳波のマイクロステート解析によるがん疼痛治療効果の予測
Microstate analysis for prediction of treatment effect of sympathectomy
吉岡 花菜
明治大学 理工学部
- P2-64** デジタル脳モデルを用いた高精度頭蓋内脳波生成シミュレーションと行動状態推定
Digital Brain Models for Accurate Intracranial EEG Generation and Behavioral State
Estimation
津村 周
国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第七部／東京科学大学大学院 医歯学
総合研究科
- P2-65** 高次元神経活動パターン探索のための解釈可能なラスターマップの開発
Interpretable Rastermap for Exploring High-Dimensional Neuronal Activity Patterns
白 聞駿
国際電気通信基礎技術研究所（ATR） 脳情報解析研究所

ご協賛一覧

【協賛企業・団体一覧】

アッヴィ合同会社

株式会社アラヤ

イーストメディック株式会社

エーザイ株式会社

エスアンドブレイン株式会社

エフピー株式会社

キャノンメディカルシステムズ株式会社

グンゼメディカル株式会社

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

シーメンスヘルスケア株式会社

ジンマー・バイオメット合同会社

ゼロシーセブン株式会社

高島製作所株式会社

武田薬品工業株式会社

東海光学株式会社

日本メジフィジックス株式会社

ネクセラファーマージャパン株式会社

株式会社フィジオテック

株式会社ミユキ技研

ミライセンス / 村田製作所

リヴァノバ株式会社

一般社団法人応用脳科学コンソーシアム

国立研究開発法人情報通信研究機構

玉川大学脳科学研究所

国立研究開発法人理化学研究所

(敬称略・五十音順)

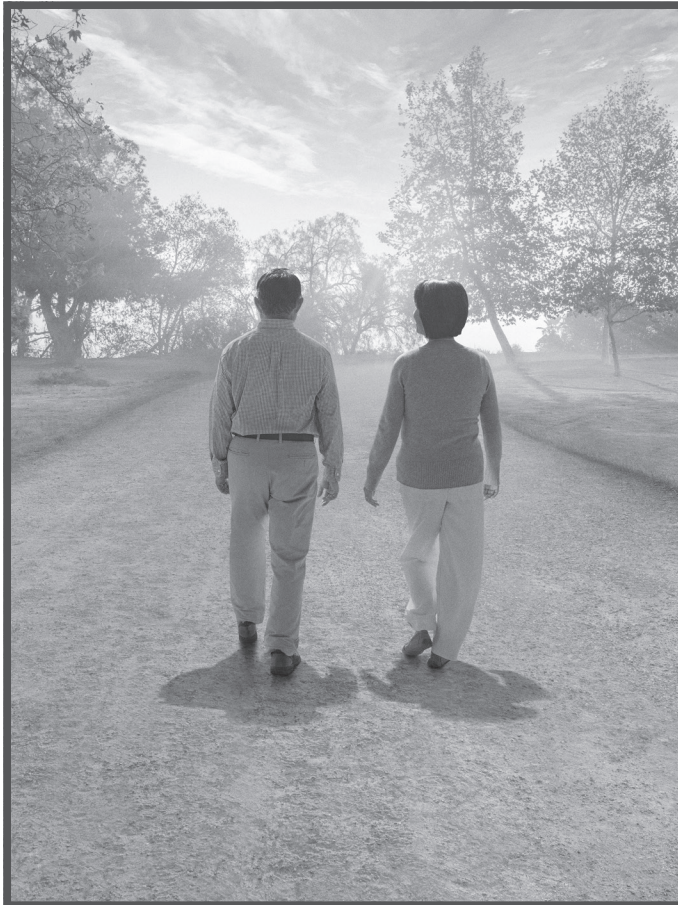
(2025年2月27日現在)

【謝 辞】

第27回日本ヒト脳マッピング学会を開催するにあたり、上記企業および医療機関にはご支援いただきありがとうございました。この場をかりて深謝申し上げます。

第27回日本ヒト脳マッピング学会

会長 松田 哲也




 処方箋医薬品[®]
 抗パーキンソン剤
ヴィアレブ[®] 配合持続皮下注
 ホスレボドパ・ホスカルビドパ水和物配合剤
VYALEV[®] combination subcutaneous infusion

薬価標準収載

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等
 情報等については、電子化された添付文書(電子添文)
 をご参照ください。

製造販売元

アッヴィ合同会社 (文献請求先及び問い合わせ先)
 東京都港区芝浦3-1-21 くすり相談室
 フリーダイヤル 0120-587-874

2024年5月作成
 JP-VYAL-220031-3.0

abbvie

経頭蓋電気刺激装置 【基礎医学研究用機器】

Neurostim

小型の経頭蓋非侵襲性電気刺激デバイス

- コンパクトな本体とバッテリー駆動による高い携帯性
- USB経由でPCに接続して詳細な刺激設定が可能
- 二重盲検刺激のための研究モード
- 最大250セッションのメモリ
- 刺激中の電極インピーダンスをモニター
- 電流 - 最大5 mA 刺激時間 - 最大40分

刺激タイプ

- tDCS(経頭蓋直流刺激)
- tACS(経頭蓋交流電流刺激)
- tRNS(経頭蓋ランダムノイズ刺激)
- tDSC-Sham(経頭蓋直流刺激+シャム)
- tPCS(経頭蓋パルス電流刺激)
- カスタム波形(tACS)
ホワイトノイズ波形など任意の波形を読み込んで
刺激できます



定価 1,000,000-

EMC イーストメディック株式会社
 East Medic Corporation

〒920-0062 石川県金沢市割出町702番2
 TEL: 076-239-4761 FAX: 076-239-1771 URL: <http://www.east-medic.jp>



患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。



パーキンソン病治療剤（選択的 MAO-B 阻害剤）

薬価基準収載

エフピーOD[®]錠2.5

FP-OD[®] TABLETS （セレギリン塩酸塩口腔内崩壊錠）

劇薬 覚醒剤原料 処方箋医薬品

（注意—医師等の処方箋により使用すること）

●効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については、
電子添文をご参照ください。

 藤本製薬グループ

【製造販売元（文献請求先及びお問い合わせ先）】

エフピー株式会社

〒580-0011 大阪府松原市西大塚1丁目3番40号

TEL:0120-545-427 FAX:0120-116-026

URL:<http://www.fp-pharm.co.jp/>

® 登録商標

Canon

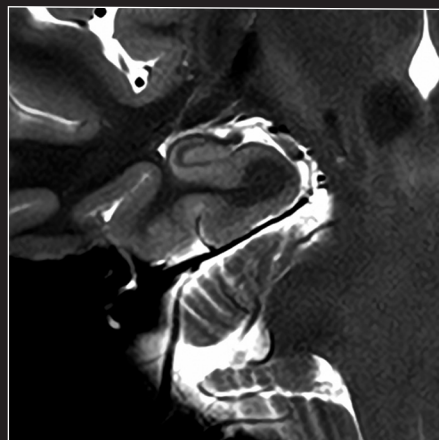
今ある画像を 超解像へ

Original



Matrix 320 x 320

Precise IQ Engine (PIQE)



Recon Matrix 960 x 960



さらなる進化を遂げたDLR-MRI

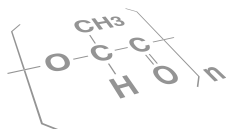
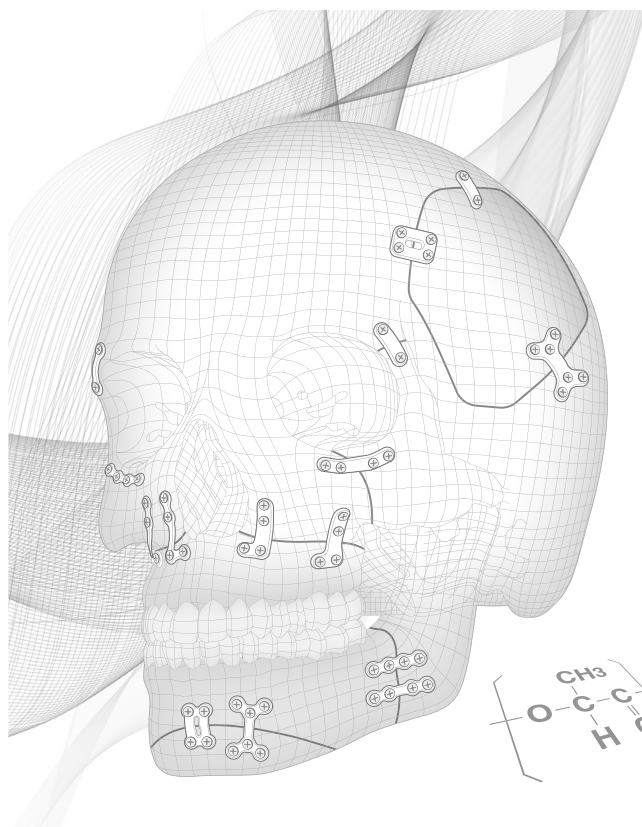
Deep Learning Reconstruction (DLR)

本システムは画像再構成に用いるネットワーク構築にDeep Learningを使用しており、本システム自体に自己学習機能を有しておりません。

E000306

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life



GUNZE

吸収性体内固定用ネジ・吸収性体内固定用プレート

NEOFIX™

ネオフィックス



お湯曲げによるベンディング
可能なPLLAプレートにより
曲げやすさを実現

GUNZE MEDICAL
グンゼメディカル株式会社

〒530-0003
大阪市北区堂島2丁目4-27 JRE堂島タワー5F
TEL: 06-4796-3151
URL: <https://www.gunzemedical.co.jp>

【製造販売業者】グンゼ株式会社
【販売業者】グンゼメディカル株式会社
文書管理 No. P000243-2

高度管理医療機器
医療機器承認番号 20600BZZ00666000

Creating a world where
healthcare has no limits



GE HealthCare

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

カスタマー・コールセンター 0120-202-021

【受付時間】 9:00~18:00 ※土・日・祝を除く

gehealthcare.com

JB09455JA



NEUROSURGERY REDEFINED.

ACCURATE
FAST
MINIMALLY INVASIVE¹
PLACEMENT OF
NEUROSURGICAL INSTRUMENTS

ROSA ONE[®] BRAIN

1. Tandon et. al. Analysis of Morbidity and Outcomes Associated with Use of Subdural Grids vs Stereo-electroencephalography in Patients with Intractable Epilepsy. JAMA Neurol. 2019 Jun 1;76(6):672-681.

本資料に示された内容の著作権、商標権、及びその他の知的財産権は、特に断りのない限り適宜 Zimmer Biomet またはその支社に帰属し、これらの全てまたは一部を Zimmer Biomet の書面による許諾なしに再利用、複製、及び公開することはできません。本資料は医療従事者向けに作成されており、医療関係者以外の一般の方へ提供することは法規制等により禁止されております。【禁忌・禁止】、【使用目的又は効果】、【使用上の注意】、及び不具合・有害事象等の情報については、本製品の添付文書をご参照いただくか、弊社営業担当者までご連絡ください。製品のさらなる最新の情報は、<https://www.zimmerbiomet.com/ja>にてご確認ください。使用に当たっては本製品の承認条件及び手術手技書等をご確認ください。©2024 Zimmer Biomet

販売名：ROSA One ロボットシステム
製造販売承認番号：23100BZX00060000
規制区分：高度管理医療機器 特定保守管理医療機器
一般的名称：手術用ロボット手術ユニット

ジンマー バイオメット <https://www.zimmerbiomet.com/ja>

本社 〒105-0011 東京都港区芝公園二丁目11番1号 住友不動産芝公園タワー 15階
Tel. 03-6402-6600 (代)



ZIMMER BIOMET



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp



nihon
medi+physics



放射性医薬品・脳疾患診断薬

薬価基準収載

処方箋医薬品^(注)

ビザミル[®] 静注

放射性医薬品基準フルテマトル (¹⁸F) 注射液

®:登録商標

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。



製造販売元

日本メジフィックス株式会社

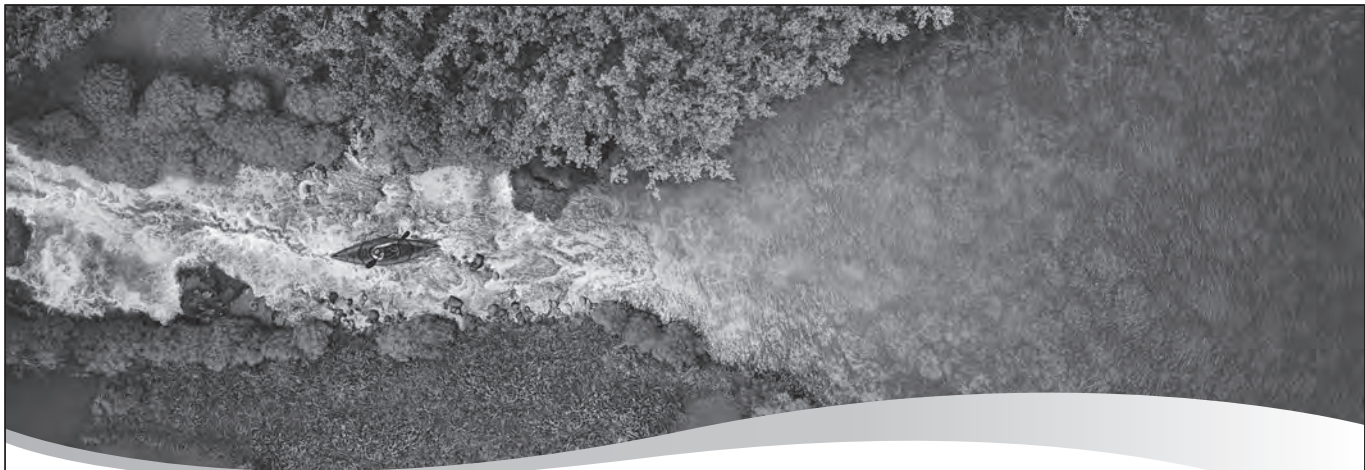
〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

文献請求先及び問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトでPET検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

2024年8月改訂



エンドセリン受容体拮抗薬

薬価基準収載

ピヴラッツ® 点滴静注液 150mg

劇薬、処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

PIVLAZ® I.V. Infusion liquid 一般名 クラゾセンタンナトリウム

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については、電子添文をご参照ください。

製造販売元

ネクセラファーマージャパン株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番2号

文献請求先及び問い合わせ先

ネクセラ DIセンター

フリーダイヤル▶0120-664-553

受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝日・当社休業日を除く)

JP-CL-00154

PVX0008E

2024年4月作成

Deymed
DIAGNOSTIC

DuoMAG®

モノフェイジック磁気刺激装置

素早いチャージが可能になりました

- 最大2Hzの反復頻度で单相刺激が可能です。(100%時は0.5Hz)
- ヘッドボックスの接続により、誘発筋電図の測定ができます。
- タッチパネルで刺激間隔などを簡単設定、TTLトリガ受信により、刺激の制御が可能です。



単発刺激タイプ

2連発刺激タイプ

医療機器認証番号：304AIBZX00005000

製造業者 Deymed Diagnostic社(チェコ) 発売元 BRAINBOX社(英国)

製造販売業者

 株式会社 ミユキ技研

本社：〒113-0033 文京区本郷3丁目18番14号 本郷ダイヤビル6階
TEL.03-3818-8631 FAX.03-3818-8632

製品についてのお問い合わせ▶

<https://www.miyuki-net.co.jp/>



